

平成26年度

シラバス

5 年 次
(臨床実習)



自主創造
日本大学

日本大学松戸歯学部

SD 診療

シ ラ バ ス

目 次

学部長訓示	
目次	
臨床実習の成績評価	1
班別名簿	3
S D 診療	
S D 診療	4
S D 診療フローチャート	5
臨床実習	
臨床実習に際して	8
臨床実習の概要	10
臨床実習の実施方法	11
臨床実習配属表	12
初診科	25
臨床検査科	26
放射線科	27
保存科	29
歯周科	31
補綴科	34
口腔外科	39
矯正歯科	40
小児歯科	41
麻酔・全身管理科	42
特殊歯科	43
再生歯科	46
顎関節・咬合科	47
口腔インプラント科	49
スポーツ健康歯科, いびき外来	51
職員技工室の配属	52

平成 26 年度臨床実習の成績評価方法

1 評 価

- 1) 臨床実習の評価項目は、各診療科におけるポートフォリオ、ローテーションポリクリ、配属先各診療科における臨床実習、SD 診療および臨床能力到達試験（OSCAT）とする。
- 2) 臨床実習の評価項目と重み付けを下記に定め総合評価をもって行う。

2 評価項目

1) 臨床実習

- ① ポートフォリオ（10%）
- ② ローテーションポリクリ（5%）
- ③ 配属先各診療科における臨床実習（45%）
- ④ SD 診療（20%）
- ⑤ 臨床能力到達試験
(Objective Structured Clinical Achievement Test : OSCAT)（20%）

2) 配属先各診療科における臨床実習の評価

- ① 初診科
- ② 臨床検査科
- ③ 放射線科
- ④ 保存科（再生歯科を含む）
- ⑤ 歯周科
- ⑥ 補綴科（顎関節・咬合診療科、スポーツ健康歯科を含む）
- ⑦ 口腔外科（口腔インプラント科を含む）
- ⑧ 矯正歯科
- ⑨ 小児歯科
- ⑩ 麻酔・全身管理科
- ⑪ 特殊歯科

3 評価基準

- 1) 評価方法はいずれも 100 点法で行う。
- 2) 2-1)の評価項目中、1 項目において 60 点未満の評価があった場合、臨床実習の評価は 0-59 点とする。
- 3) 2-2)の評価項目中、1 診療科において 60 点未満の評価があった場合、臨床実習の評価は 0-59 点とする。

4 付記

アポイント帳による配当（担当）患者のアポイント等による評価を加点する場合がある。

5 出欠席

- 1) 臨床実習期間中（診療日全日、但し冬季休業中は除く）は、原則として欠席は認めない。欠席時間を次の通り置き換える。欠席日数 1 日を 1 ポイントとする。遅刻 1 回を 0.5 ポイントとする。早退 1 回を 0.5 ポイントとする。

ただし傷病に応じて対応するので、診断書を添付して届出を行うこと。

公用欠席は欠席時間に入れない。

- 2) 1 か月に 3 ポイント以上の欠席は、部長・科長会に報告される。
- 3) 臨床実習期間中、25 ポイント以上の欠席者は臨床実習の評価の最高点を 60 点とし、
歯科医学総合講義 5 の再試験の受験資格は与えない。
- 4) 欠席、遅刻、早退届けは早急に治療計画室に提出しなければならない。なお、連続
して 3 日以上欠席する場合は、あらかじめ（約 1 か月前）書面で必要事項を記入し欠
席期間を報告しなければならない。

平成26年度 5年次臨床実習 班別名簿(121名)

★ 総班長 宜野座 厚
☆ 総副班長 井上 裕
○ 班長 栗栖 諒子

A (10名)			B (10名)			C (10名)			D (10名)			E (10名)			F (10名)		
院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名
1	40003	雨宮 厚太郎	1	40001	相田 耕一郎	1	40005	飯塚 なつき	1	37030	温田 睦俊	1	37032	笠原 万記子	○ 1	40030	叶多 史尚
2	40006	飯塚 怜	2	39014	伊藤 射雅	☆ 2	40131	井上 裕	○ 2	40026	角田 航	2	39132	越智 光希	2	37040	熊木 健二
3	39009	石澤 近思	△ 3	40002	青山 竣	△ 3	39020	今山 雅啓	3	40027	勝又 詠太	3	38042	金子 貴則	3	39044	清本 小由里
△ 4	39010	泉田 弘太	4	40008	石崎 裕太郎	4	40014	江口 采花	4	39038	勝又 剛	△ 4	40029	金子 貴裕	4	40036	久保 響子
5	40009	一木 俊吾	5	39015	伊藤 正一	5	40017	大沢 樹音	5	40032	北口 卓	★ 5	40034	宜野座 厚	5	39046	栗原 壮一朗
6	38007	飯島 啓基	○ 6	40011	今井 和博	○ 6	38030	大森 祐一郎	6	40033	北村 妃香莉	○ 6	40039	黒江 星斗	6	40038	栗谷川 輝
7	38015	伊藤 和真	7	40012	内ヶ崎 明子	7	38028	大塚 航平	☆ 7	40037	栗栖 諒子	7	39042	北村 脩	7	40047	小巻 佑季子
8	39016	稲月 麻里子	8	40019	大野 真季	8	37031	影島 友久	△ 8	40134	黒江 慧	8	40049	小松 知広	△ 8	40050	齋藤 光寿
○ 9	40016	大木 峻佑	9	40133	大峰 倫子	9	40021	岡崎 啓太	9	35042	郡司 一広	9	40052	齋藤 理花子	9	40051	齋藤 由未
10	40020	大森 寛子	10	38031	岡田 俊也	10	40023	奥藤 杏菜	10	40046	駒形 悠佳	10	39053	座波 嘉仁	10	39052	佐藤 克憲
G (10名)			H (10名)			I (10名)			J (10名)			K (10名)			L (11名)		
院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名	院内番号	学生番号	氏名
○ 1	40057	嶋崎 宏	△ 1	39063	節 虹太郎	1	38097	野林 講平	1	39077	新村 暉	1	40078	中村 まい	1	40081	沼田 康正
2	39058	鈴木 祥恵	2	40065	鷹 費康治	△ 2	39057	進藤 久美子	○ 2	39078	西澤 克	2	39102	森嶋 大輔	△ 2	40136	福島 歩
3	40058	島津 由紀子	3	39066	高橋 奈津輝	3	40059	陣内 絢香	3	40082	根田 佳果	3	40079	生天目 里実	○ 3	39087	古畑 光昭
△ 4	40060	神保 安妃子	4	39069	橘 宗範	4	39133	平野 隆	4	40084	深谷 紗友美	4	39079	丹羽 真乃輔	4	38114	横平 亨吾
5	40135	高澤 充知	5	39074	中澤 貴士	5	40062	鈴木 武洋	5	39084	藤島 康平	5	39106	山崎 陽祐	5	39094	松本 英司
6	38074	高橋 優美	○ 6	40068	田畑 晴香	○ 6	40071	辻 理子	6	40086	本間 正直	○ 6	40080	沼崎 雄太	6	40090	宮田 優花
7	39065	高橋 将太	7	39070	丹下 紗織	7	40072	徳田 功至	7	39097	宮下 夏美	7	38115	牧山 賢	7	39105	山口 広樹
8	38075	岳 亜希子	8	40070	塚田 美智子	8	38108	古本 由美	8	39098	宮田 昂樹	8	40089	宮下 武	8	39107	山崎 壘
9	39067	高橋 佑裕	9	40075	中島 正	9	40074	中澤 雅人	△ 9	40091	村上 理奈	△ 9	40137	宮原 三央子	9	40094	弓長 承庭
10	40067	田中 佐季	10	40077	中村 孝一郎	10	40076	中村 圭吾	10	40095	横田 大成	10	40097	立之 友美子	10	40096	吉野 亜州香
															11	38127	渡邉 俊介

平成26年度 臨床実習（5月～3月）

診療科名：SD診療室
担当教員名 口腔外科：西村 均，田中茂男，池谷美和，岩井 聡 保存科：神谷直孝，鈴木英明，川島 正，岡部 達 補綴科：木本 統，林 幸男，伊藤誠康，中田浩史，大村祐史，田中孝明，後藤治彦 歯周科：中山洋平，吉野祥一，高井英樹，岡野千春
実施場所：2階診療室・歯周科診療室・口腔外科診療室、カンファレンスルーム
① ユニット課題 1) 治療計画立案 2) 治療進行 3) 自験
② 到達目標 (GIO) 患者の問題に基づいた情報収集・検査・診断を行い、一口腔単位の治療計画立案と診療を円滑に行うために必要な、知識・技能・態度を修得する。
③ 行動目標 (SB0s) 1. 患者の病態を整理できる。 2. 患者の病態を過去の経過を含め指導医へ報告する。 3. 患者のプロブレムに関する検査法を選択できる。 4. プロブレムに基づいた検査結果を解釈できる。 5. 検査結果に基づき診断ができる。 6. 最終治療計画を順次性をもって立案できる。 7. 患者に治療計画を説明できる。 8. 計画に基づき治療を進行できる。 9. 患者の背景を理解し治療時の配慮ができる。 10. 患者アポイントのマネジメントができる。 11. 自験が出来る 12. 技工操作が出来る 13. 治療の進行を記録できる。 14. 治療計画の変更について対応できる。 15. 治療終了時の考察を行うことができる。 16. 終了後のメンテナンスを患者に説明できる。
④ 学習方法 (LS) SB0s 1) 2): カンファランス SB0s 3) 4) 5): ポストカンファランス, SDファイル SB0s 6) 10) 11) 12): SDファイル SB0s 7) 8) 9) 13): 診療室
⑤ 評価方法 (EV) 1) カンファランス 2) SDファイル 3) 実習態度 4) 積極性（自験・技工・患者管理・期限の順守）
⑥ 備 考（その他留意事項等） 1) SD診療はSDが進んで指導医の指導下で診療に参加する、参加型臨床実習です。診療チームの一員であるという自覚、責任と積極性をもって臨むこと。 2) 時間および期限を遵守すること 3) 常に患者の立場になり行動をすること。 4) 医療人としての振る舞いを常に意識すること。

予診,SD診療・SD-file・カンファランス(2)までの流れ

(日程例)

2014年5月1日

初診科予診
医療面接・情報(POMR)・
スタモ印象・口腔内写真(正面)
対診(外科オンコール)
初期治療計画(1表-A)

↓ a

(a: 14日:厳守)

チームカンファランス(1)
SDが初診科情報をプレゼン
担当医決定・診療アポイント

2014年5月15日

SDが担当医へ仮治療計画をプレゼン。
担当医とともに仮治療計画の修正。
・カンファランスは1SD30分、1日3名
・実施時間PM15:00~16:30

↓ b

(b: 10~14日)

チーム初診・診療開始
診療記録(2表-①)・治療進行表

2014年5月29日

主治医による仮治療計画の説明。患者へ
の説明と同意後による治療計画の修正、
治療開始

(c: 10日:厳守)

↓ c

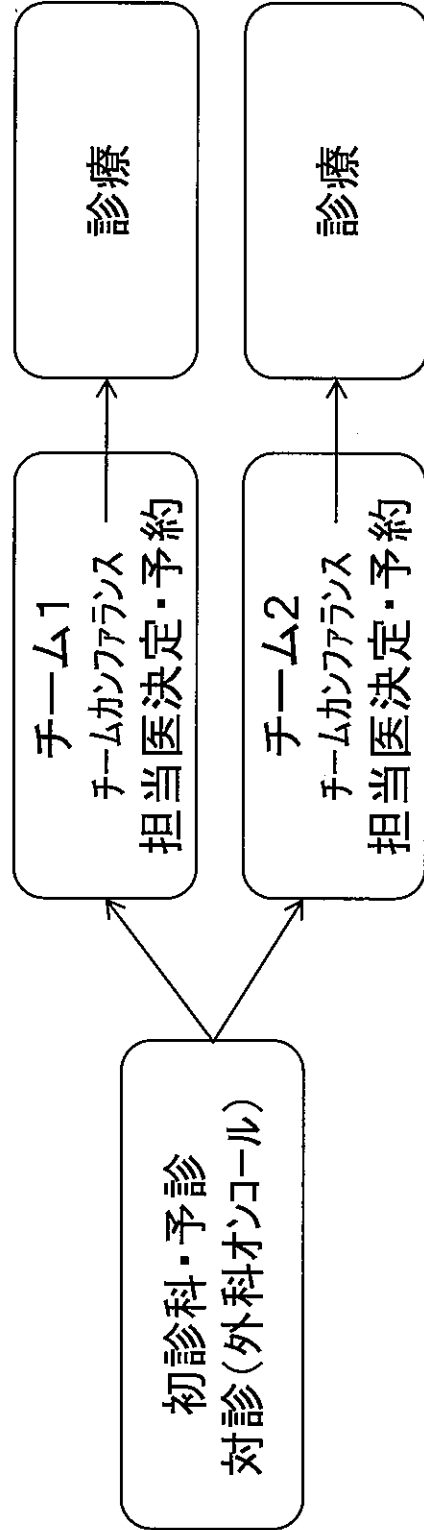
2014年6月8日

1表-B完成

患者同意後の治療計画を記入。
各科Drの検印を受ける(治療計画レポートの下書き受付
時と完成時およびSDファイルへの清書後)。
下書きの再レポートの完成期限は「C:10日」を厳守する。
効率的な治療計画を立案し、治療計画書に記載すること。
最後に主治医による総合評価の検印を受けること。

診療終了又は途中経過
チームカンファランス(2)

予診からSD診療室へ



SD診療室 配布物

- ①SDファイル2部, 別に引き継ぎ担当患者のSDファイル,
- ②「SD治療計画・1表—Bレポート」表紙 2部・計画室配布,
- ③ SDカンファランス評価シート 2部・計画室配布,
- ④自験内容確認表 2部
- ⑤下書きレポート用の1表—Bは各自でコピーすること.

- ・前頁の各締切日の遅れは, 減点対象となるので注意すること.
- ・治療計画は, 治療期間が短縮されるよう効率よく計画すること.

臨床実習

シ ラ バ ス

臨床実習に際して

1. 院内における心得

- 1) 臨床実習は、これまで学んだ基礎知識をもとに歯科医療の実技とその修練を行うものである。特に患者様を対象とするため院内においてはこの心得を守り行動しなければならない。
- 2) 学生（以下院内生という）は臨床実習に際し教員の指示に従い、受けた指示を十分理解して行動すること。
- 3) 院内生は指導担当医の指示なく診療行為を行ってはならない。
- 4) 院内の清潔維持に常に心がけること。
- 5) 臨床実習においては各自衛生を重んじ、頭髮、口腔等身体の清潔に留意すること。
- 6) 患者さんに対しては親切丁寧に接すること。
怠慢や不親切のために患者さんに迷惑をかけてはならない。
- 7) 臨床実習においては機械器具等を丁寧に取扱い、保存、管理に十分注意すること。
- 8) 院内生は各科診療室の電話を使用してはいけない。
- 9) 診療衣のまま学外に出てはいけない。
- 10) マニキュア、指輪、ピアス、イヤリング、腕時計は禁止とする。
- 11) 茶髪は認めない。また、髪は束ねて帽子の中に入れて、垂れないようにする。

2. 院内における諸注意事項

1) 服 装

- ① 院内生の服装は規定の白衣及び診療帽、マスクを着用し、また上靴を履くこと。
- ② 診療衣は常に清潔なものを着用すること。
- ③ 臨床実習時間中の私服は禁止。
- ④ 女子はスカート・キュロットまたはスラックスを着用のこと。

2) 掲 示

掲示は、各学年の教室および院内生技工室入口の院内生用掲示板に掲示するので見落としのないよう注意すること。

3) 出欠席について

- ① 院内生は講義および担当患者の有無を問わず臨床実習期間中は毎日出席すること。
- ② 臨床実習期間中は無断で外出してはならない。
- ③ やむを得ない事故、または病気等により欠席するものは、臨床実習開始までに治療計画室（047-360-9582）へ電話その他で通知すること。欠席届は、前項の通知にかかわらず、欠席日より3日以内に治療計画室に提出すること。傷病による欠席が連続1週間以上の場合には、医師の診断書を添付して提出すること。
- ④ 遅刻はこれを認めない。
- ⑤ やむを得ず遅刻したとき、あるいは早退するときは、所定の手続きをとらなければならない。

4) 電話の使用について

臨床実習において学外に電話する場合は、院内生控室（内線 489, 490）、病院業務に支障をきたさないように受付を使用すること。

5) 院内の呼び出しについて

院内生同志の呼び出しは禁止。

6) 受付時間

平	日	初 診	午前 9 時～午前 11 時
		再 来	午前 9 時～午後 3 時 30 分
土	曜	初 診	午前 9 時～午前 10 時
		再 来	午前 9 時～正午

夏期診療期間及び大学行事の場合の受付時間は別に定める。

7) 喫煙について

所定の場所以外では禁煙となっている。

8) エレベーターについて

院内生のエレベーター使用を禁ずる。

3. 院内生控室

1) 院内生は下記の時間に院内生控室を使用することができる。

平 日	午前 8 時～午後 6 時 30 分
土曜日	午前 8 時～午後 3 時

2) 禁 煙

3) 共同使用の場所であり各自机の上に衣類やバック、また使用済の紙コップ等を置かないようお互いに整理整頓を心掛けること。

4. 院内技工室

1) 院内生は下記の時間に院内生技工室を使用することができる。

平 日	午前 8 時～午後 6 時
土曜日	午前 8 時～午後 1 時

2) 各自常に整理整頓をし、清潔に保つよう心掛けること。

3) 技工室当番の担当者は、常に材料の不足分を補充すること。補充材料については管理科（野口 PHS8076）に申し出ること。

4) 技工機の引出しの個人的利用はできない。

5) 班貸出し材料一式の責任者は班長又は副班長とし、補綴科配属の期間中責任をもって管理し、クール終了時に次のクールの補綴科配属に引き継ぐ。材料の不足については材料室に申し出ること。

6) 技工室の清掃は下記の時間より行う。

平 日	午後 6 時
土曜日	午後 1 時

7) 技工室清掃以降に技工室を使用する場合は、時間延長のノートに氏名・日付・時刻を記載してから使用する。使用した後は各自清掃を行い、管理室に連絡（内線 593）施錠を確認すること。

臨床実習の概要

臨床実習は、教養科目と専門科目（基礎歯科医学・臨床歯科医学）の講義・実習によって学んできた知識・態度及び技能を、臨床の場で患者さんに応用し、その体験を通して、歯科医学に関する知識の統合、技術の習得及び総合的判断力を身につけることにある。

臨床実習にあたっては、患者さんの人格を尊重し、全人的に把握することを学び、将来、歯科医療に携わる者としての不可欠な態度を体得し、倫理観を確立し、患者さんとのコミュニケーション技術を習得することが重要である。

一般目標（GIO）

松戸歯学部在建学の精神「メディコデンタル【医学的歯学】」を念頭に、患者さんから信頼される人間性豊かな医療人となるために、歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。

行動目標（SBOs）

- ① 患者さんを全人的に理解し患者さん中心の医療を行うために、患者さん、ご家族と良好な人間関係を確立する。
- ② チーム医療の円滑な遂行のために、院内医療チームの構成員としての役割を理解し、他の医療関係者と協調し行動する。
- ③ 患者さんの問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付ける。
- ④ 患者さんおよび医療関係者にとって安全な歯科医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画する。
- ⑤ 患者さんの抱えている問題を総合的に把握し、問題解決するための治療計画を作成し、評価する。
- ⑥ 歯科疾患と障害の予防および治療における基本的知識・技術・態度を身につける。
- ⑦ 一般的によく遭遇する歯科疾患の応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を実施する。
- ⑧ 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療を常にフィードバックし、臨床能力を向上させる態度を身につける。

臨床実習の実施方法

I. 4月

II. 5月～9月

1. 実習のシステム

- 1) 12 班のグループ制にて行う。
- 2) 通年を 10 期に分割する。
- 3) 各グループは、期間単位で配属表に従いローテイトする。

2. 各診療科の臨床実習

- 1) 通年を通して、補綴科、保存科、歯周科、口腔外科の各班毎の配属にて臨床実習を行う。
- 2) 初診科、臨床検査科、放射線科、再生歯科（総合歯科）、特殊歯科および技工室は、個別の配属にて行う。
- 3) 小児歯科、矯正歯科は、個別の配属およびアポイントにて行う。
- 4) スポーツ健康歯科および顎関節・咬合科（痛み外来）は、通年を通して自由アポイント等により行う。
- 5) 口腔インプラント科は、補綴配属期間中のアポイントおよび班別実習にて行う。
- 6) 麻酔・全身管理科は、通年を通して指定された期間のアポイントにて行う。
- 7) SD 診療患者さんの診療は、担当医員とのアポイントにて行い、配属とは無関係に行う。

3. 臨床実習ファイル

臨床実習における見学・介補、実技等の実習内容の記録として、各診療部の指示により使用する。臨床実習ファイルに患者さんの氏名、ID 番号、住所、電話番号等は記載してはならない。

4. アポイント帳

診療のアポイントに際して予約検印を受け、診療時あるいは診療後に指導医員に終了検印を受ける。予約・終了検印の両者をもって評価対象となる。見学・介補の際も同様に指導医員欄に検印を受ける。

5. 新患担当

2 名の患者さんを SD 診療患者さんとして担当する。診療等の記録は SD ファイルに記載し、各担当医員の検印を受ける。配当は、初診科の配属時に行い、配当 2 週間後にカンファランスを行う。なお、診療が中止等になった場合は追加で配当する。

6. SD 診療患者さん

新患担当患者さんおよび引継 SD 診療患者さんとあわせて約 4 名の患者さんを SD 診療患者さんとして常に担当する。実習期間中に終了、中止等の場合は治療計画書の変更手続き等を治療計画室に必ず届け出ること。なお、SD 診療患者さんの診療記録は、CC ファイルおよび SD ファイルに記載し、患者さんの情報が記載されているため、臨床実習ファイルとは別に管理し、十分注意すること。

7. 出欠席について

午前 月～土 8:35 401 教室

午後 月～金 17:00 土 13:00 病院清掃配属先

朝出欠席調査時は院内白衣に着替えておくこと（着替えていない場合欠席とみなす）。

注）臨床実習の実施方法についての詳細は日程表を参照のこと。

平成26年度 臨床実習

平成26年度				5月																							
	内 容	方 法	形 式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
				木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
第1クール																											
補綴科	実地・見学・介輔等		配 属	CDIJ										CDIJ													
保存科	実地・見学・介輔等		配 属	EF										EF													
歯周科	実地・見学・介輔等		配 属	KL										KL													
口腔外科	実地・見学・介輔等 (含病棟見学)		配 属	AB										AB													
初診科	実地・見学・介輔等 予診(患者配当2回)	3～4名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	G-1 G-2 G-3	G-4 G-5 G-6						G-9 G-10 H-1	H-2 H-3 H-4				G-7 G-8 C-1	C-2 C-3 C-4	H-7 H-8 C-5	C-6 C-7 C-8	H-5 C-9 C-10			H-6 H-9 H-10	A-1 A-2 A-3	A-4 A-5 A-6	A-9 A-10 B-1	
	予診補助 (予診時2回)	13:30- 14:00- 14:30-	配 属	D-1 D-2 D-3	D-4 D-5 D-6						D-7 D-8 D-9	D-10 I-1 I-2				I-3 I-4 I-5	I-6 I-7 I-8	I-9 I-10 J-1	J-2 J-3 J-4	J-5 J-6 J-7			J-8 J-9 J-10	C-1 C-2 C-3	C-4 C-5 C-6	I-3 I-1 I-2	
SD診療室患者の カンファランス	カンファランス	3～4名 15:00～ (月～金曜日) 2回	配 属															G-1 G-2 G-3	G-4 G-5 G-6							G-9 G-10 H-1	
臨床検査科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属		G-9 G-10 H-1 H-2							H-5 H-6 H-9 H-10				G-1 G-2 G-3 G-4	G-5 G-6 G-7 G-8					H-3 H-4 H-7 H-8		A-9 A-10 B-1 B-2			
					H-5 H-6 H-7 H-8	H-5 H-6 H-7 H-8					G-5 G-6 G-7 G-8	G-5 G-6 G-7 G-8				G-9 G-10 H-3 H-4	G-9 G-10 H-2 H-10	H-1 H-2 H-3 H-4			G-1 G-2 G-3 G-4	B-5 B-6 B-7 B-8	A-5 A-6 A-7 A-8				
放射線科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属	H-5 H-6 H-7 H-8	H-5 H-6 H-7 H-8						G-5 G-6 G-7 G-8	G-5 G-6 G-7 G-8				G-9 G-10 H-3 H-4	G-9 G-10 H-2 H-10	H-1 H-2 H-3 H-4	H-1 H-2 H-3 H-4	G-1 G-2 G-3 G-4		G-1 G-2 G-3 G-4	B-5 B-6 B-7 B-8	B-5 B-6 B-7 B-8	A-5 A-6 A-7 A-8		
小児歯科	見 学 ・ 実 技	2～4名 終日 (月・木・金・土) 2回	配 属	G-4 G-5 G-6	G-1 G-2 G-3						G-9 G-10 H-1					H-4 H-5 H-9 H-10				H-6 H-7 H-8 H-4	G-7 G-8 H-2 H-4				B-2 B-3 B-4		
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4～5名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	G-9 G-10 H-3 H-4							H-7 H-8 H-9 H-10					G-5 G-6 H-1 H-2	G-1 G-2 H-5 H-6	D-3 G-4 G-7 G-8						A-9 A-10 B-3 B-4	B-7 B-8 B-9 8-10		
再生歯科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属	G-7 G-8 H-9 H-10	G-7 G-8 H-9 H-10						G-1 G-2 G-3 G-4	G-1 G-2 G-3 G-4				H-5 H-6 H-7 H-8	H-5 H-6 H-3 H-4	G-9 G-10 H-3 H-4	G-9 G-10 H-3 H-4	G-5 G-6 H-1 H-2			G-5 G-6 H-1 H-2	A-7 A-8 B-9 B-10	A-7 A-8 B-9 B-10	A-1 A-2 A-3 A-4	
特殊歯科	見学・介輔・口頭試験	2～3名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属	H-1 H-2	H-3 H-4						H-5 H-6	H-7 H-8				H-9 H-10	G-1 G-2	G-3 G-4	G-5 G-6	G-7 G-8			G-9 G-10	B-1 B-2	B-3 B-4	B-5 B-6	
スポーツ健康歯科	見 学	過年で3症例	アポイント																								
顎関節咬合診療科 (痛み外来)	見 学	3名 5月～9月、10月～3月 終日、各々1回 (月～土曜日) 2回	アポイント																								
口腔インプラント科	見 学	アポイント 配属実習 指定日 13:30-15:30 (指定日) 1回	アポイント	CDIJ										CDIJ													
			配属実習																					I J	C D		
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名 終日 (火・木曜日)	アポイント	CDIJ										CDIJ													
技工室	見 学 ・ 実 技	2～3名 (月～金曜日) 1回		C-1 C-2 C-3							C-4 C-5 C-6	C-7 C-8						C-9 C-10	D-1 D-2	D-4 D-5	D-7 D-8	D-9 D-10				I-1 I-2 I-3	I-4 I-5 I-6
出欠席確認 午前 401教室 (月～土 8:35) 午後 病院清掃配属先 (月～金 17:00) (土 13:00)	病院清掃配属	保存・補綴科 (4班)		ABCD																							
		3F再生歯科 2Fスポーツ健康歯科 (2班)		EF																							
		口腔外科 (1班)		G																							
		歯周科 (1班)		H																							
		初診科 (1班)		I																							
		小児歯科 (1班)		J																							
		放射線科 (1/2班)		K1～5																							
		特殊歯科 (1/2班)		K6～10																							
矯正歯科 (1班)		L																									

6月

23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
																														第2クール											
																														EFKL											
KL										AB										GH																					
EF										GH										AB																					
GH										CD										IJ																					
B-2				A-7	D-2	B-7	D-6	B-5			B-6	I-1	I-4	I-9	J-2			I-7	E-2	J-7	E-6	J-5			J-8	K-1	K-4	K-9	L-2			K-7	F-2	L-7	F-6	L-5			L-6		
B-3				A-8	D-3	B-8	D-7	D-9			B-9	I-2	I-5	I-10	J-3			I-8	E-3	J-8	E-7	E-9			J-9	K-2	K-5	K-10	L-3			K-8	F-3	L-8	F-7	F-9			L-9		
B-4				D-1	D-4	D-5	D-8	D-10			B-10	I-3	I-6	J-1	J-4			E-1	E-4	E-5	E-8	E-10			J-10	K-3	K-6	L-1	L-4			F-1	F-4	F-8	F-10			L-10			
C-10				C-7	I-6	I-9	J-2	J-5			J-8	F-1	F-4	F-7	F-10			K-3	K-6	K-9	L-2	L-5			L-8	E-1	E-4	E-7	E-10			K-3	K-6	K-9	L-2	L-6,9			L-4		
I-4				C-8	I-7	I-10	J-3	J-6			J-9	F-2	F-5	F-8	K-1			K-4	K-7	K-10	L-3	L-6			L-9	E-2	E-5	E-8	K-1			K-4	K-7	K-10	L-3	L-7			L-11		
I-5				C-9	I-8	J-1	J-4	J-7			J-10	F-3	F-6	F-9	K-2			K-5	K-8	L-1	L-4	L-7			L-10	E-3	E-6	E-9	K-2			K-5	K-8	K-11	L-5	L-10			L-11		
				H-2	C-7	C-2	H-7	C-6			H-5	H-6	A-1	A-4	A-9			B-2	A-7	D-2	B-7	D-6			B-5	B-6	I-1				I-4	I-9	J-2	I-7	E-2			J-7			
				H-3	C-8	C-3	H-8	C-7			C-9	H-9	A-2	A-5	A-10			B-3	A-8	D-3	B-8	D-7			D-9	B-9	I-2				I-5	I-10	J-3	I-8	E-3			J-8			
				H-4	C-1	C-4	C-5	C-8			C-10	H-10	A-3	A-6	B-1			B-4	D-1	D-4	D-5	D-8			D-10	B-10	I-3				I-5	J-1	J-4	E-1	E-4			E-5			
B-5				A-1	A-5						B-3		I-9		J-5			I-1	I-5						J-3		C-8		D-5				C-1	C-5					D-3		
B-6				A-2	A-6						B-4		I-10		J-6			I-2	I-6						J-4		C-10		D-6				C-2	C-6					D-4		
B-9				A-3	A-7						B-7		J-1		J-9			I-3	I-7						J-7		D-1		D-9				C-3	C-7					D-7		
B-10				A-4	A-8						B-8		J-2		J-10			I-4	I-8						J-8		D-2		D-10				C-4	C-8					D-8		
A-5				A-9	A-9	B-1	B-1	A-1			A-1	J-5	J-5	I-5	I-5			I-9	I-9	J-1	J-1	I-1			I-1	D-5	D-5	D-5	C-5			C-9	C-9	D-1	D-1	C-1			C-1		
A-6				A-10	A-10	B-2	B-2	A-2			A-2	J-6	J-6	I-6	I-6			I-10	I-10	J-2	J-2	I-2			I-2	D-6	D-6	C-6	C-6			C-10	C-10	D-2	D-2	C-2			C-2		
A-7				B-3	B-3	B-9	B-9	A-3			A-3	J-7	J-7	I-7	I-7			J-3	J-3	J-9	J-9	I-3			I-3	D-7	D-7	C-7	C-7			D-3	D-3	D-9	D-9	C-3			C-3		
A-8				B-4	B-4	B-10	B-10	A-4			A-4	J-8	J-8	I-8	I-8			J-4	J-4	J-10	J-10	I-4			I-4	D-8	D-8	C-8	C-8			D-4	D-4	D-10	D-10	C-4			C-4		
A-9	A-1							B-6	B-8	A-3	A-7			J-2	I-9	I-1					J-6	J-9	I-3			I-7			D-2	C-5	C-1					D-6	D-9	C-3			C-7
A-10	A-2							B-7	B-10	A-4	A-8			J-3	I-10	I-2					J-7	J-10	I-4			I-8			D-3	C-10	C-2					D-7	D-10	C-4			C-8
B-1	A-6							B-8			A-5			J-4	J-1	I-6					J-8		I-5					D-4	D-1	C-8					D-8			C-5			D-5
				A-5								I-9		J-7													C-9		D-7						C-5		C-1	C-3			
				A-6								I-10		J-8													C-10		D-8						C-6		C-2	C-4			
				B-1								J-3		J-9													D-3		D-9						D-5	C-7					
				B-2								J-4		J-10													D-4		D-10						D-6	C-8					
A-1				B-5	B-5	A-9	A-9	A-5			A-5	I-7	I-7	I-1	I-1			J-5	J-5	I-9	I-9	I-5			I-5	C-7	C-7	C-1	C-1			D-5	D-5	C-9	C-9	C-5			C-5		
A-2				B-6	B-6	A-10	A-10	A-6			A-6	I-8	I-8	I-2	I-2			J-6	J-6	I-10	I-10	I-6			I-6	C-8	C-8	C-2	C-2			D-6	D-6	C-10	C-10	C-6			C-6		
A-3				B-7	B-7	B-3	B-3	B-1			B-1	J-9	J-9	I-3	I-3			J-7	J-7	J-3	J-3	J-1			J-1	D-9	D-9	C-3	C-3			D-7	D-7	D-3	D-3	D-1			D-1		
A-4				B-8	B-8	B-4	B-4	B-2			B-2	J-10	J-10	I-4	I-4			J-8	J-8	J-4	J-4	J-2			J-2	D-10	D-10	C-4	C-4			D-8	D-8	D-4	D-4	D-2			D-2		
B-7				B-9	A-1	A-3	A-5	A-7			A-9	J-1	J-3	J-5	J-7			J-9	I-1	I-3	I-5	I-7			I-9	D-1	D-3	D-5	D-7			D-9	C-1	C-3	C-5	C-7			C-9		
B-8				B-10	A-2	A-4	A-6	A-8			A-10	J-2	J-4	J-6	J-8			J-10	I-2	I-4	I-6	I-8			I-10	D-2	D-4	D-6	D-8			D-10	C-2	C-4	C-6	C-8			C-10		
																																			</						

平成26年度 臨床実習

平成26年度				7月																											
	内 容	方 法	形 式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22						
				火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火						
第3クール																															
補綴科	実地・見学・介輔等		配 属	ABGH																											
保存科	実地・見学・介輔等		配 属	CD														IJ													
歯周科	実地・見学・介輔等		配 属	IJ														CD													
口腔外科	実地・見学・介輔等 (倉庫棟見学)		配 属	EF														KL													
初診科	実地・見学・介輔等 予診(患者担当2回)	3～4名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	H-1 H-2 H-3	H-4 H-5 H-6	H-7 H-8 H-9	H-10 B-1 B-2				B-3 B-4 B-5	B-6 B-7 B-8	B-9 A-1 A-4	A-2 A-3 A-7	A-5 A-6		A-8 A-9 A-10	E-1 E-2 E-3	E-4 E-5 E-6	E-9 E-10 F-1	F-2 F-3 F-4				E-7 E-8 G-1						
		13:30- 14:00- 14:30-	配 属	A-1 A-2 A-3	A-4 A-5 A-6	A-7 A-8 A-9	A-10 G-1 G-2				G-3 G-4 G-5	G-6 G-7 G-8	G-9 G-10 H-1	H-2 H-3 H-4	H-5 H-6 H-7		H-8 H-9 H-10	B-1 B-2 B-3	B-4 B-5 B-6	B-7 B-8 B-9	B-10 G-1 G-2			G-3 G-4 G-5							
SD診療室患者の カンファランス	カンファランス	3～4名 15:00～ (月～金曜日) 2回	配 属	E-6 E-7 E-8	J-5 E-9 E-10	J-6 J-9 J-10	K-1 K-2 K-3				K-4 K-5 K-6	K-9 K-10 L-1	L-2 L-3 L-4	L-7 K-8 F-1			F-2 F-3 F-4	L-7 L-8 F-5	F-6 F-7 F-8	L-5 L-9 F-10	L-6 L-9 L-10				H-1 H-2 H-3						
臨床検査科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属		K-9 K-10 L-1 L-2	L-5 L-6 L-9 L-10 L-11					K-1 K-2 K-3 K-4	K-5 K-6 K-7 K-8					L-3 L-4 L-7 L-8	E-9 E-10 F-1 F-2	F-5 F-6 F-9 F-10						E-1 E-2 E-3 E-4						
放射線科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属	L-5 L-6 L-7 L-8	L-5 L-6 L-7 L-8	K-5 K-6 K-7 K-8				K-9 K-10 L-1 L-4	K-9 K-10 L-2 L-10 L-11	L-1 L-2 L-9 L-10 L-11	K-1 K-2 K-3 K-4				X-1 K-2 K-3 K-4	F-5 F-6 F-7 F-8	F-5 F-6 F-7 F-8	E-5 E-6 E-7 E-8				E-9 E-10 F-3 F-4							
小児歯科	見 学 ・ 実 技	2～4名 終日 (月・木・金・土) 2回	配 属			L-2 L-3 L-4	K-9 K-10 L-1 K-8	K-1 K-2					L-6 L-7 L-8 L-11	L-9 L-10 K-4 K-5 L-5	K-3 K-4		K-7 K-8		F-2 F-3 F-4 F-1	E-9 E-10 F-1 F-9	E-1 E-2										
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4～5名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	X-9 K-10 L-3 L-4	L-7 L-8 L-9 L-10 L-11					K-5 K-6 L-1 L-2	K-1 K-2 K-7 K-8	K-3 K-4 K-7 K-8					E-9 E-10 F-3 F-4	F-7 F-8 F-9 F-10							E-5 E-6 F-1 F-2						
再生歯科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属	K-7 K-8 L-9 L-10 L-11	K-7 K-8 L-9 L-10 L-11	K-1 K-2 K-3 K-4				L-5 L-6 L-7 L-8	K-9 K-10 L-3 L-4 L-2	K-9 K-10 L-3 L-4 L-2	K-5 K-6 L-1 L-2				K-5 K-6 L-1 L-2	E-7 E-8 F-9 F-10	E-7 E-8 F-9 F-10	E-1 E-2 E-3 E-4				F-5 F-6 F-7 F-8							
特殊歯科	見学・介輔・口頭試験	2～3名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属	L-1 L-2	L-3 L-4	L-5 L-8	L-7 L-8			L-9 L-10 L-11	K-1 K-2 K-4 K-6 K-8	K-3 K-4 K-6 K-8					K-9 K-10	F-1 F-2	F-3 F-4	F-5 F-6 F-8	F-7 F-8				F-9 F-10						
スポーツ健康歯科	見 学	通年で3症例	アポイント																												
顎関節咬合診療科 (痛み外来)	見 学	3名 5月～9月、10月～3月 終日、各々1回 (月～土曜日) 2回	アポイント																												
口腔インプラント科	見 学	アポイント 配属実習 指定班 13:30～16:30 (指定日) 1回	アポイント	ABGH																											
			配属実習																												
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名 終日 (火・木曜日)	アポイント	ABGH																											
技工室	見 学 ・ 実 技	2～3名 (月～金曜日) 1回		A-1 A-2 A-3	A-4 A-5 A-6	A-7 A-8				A-9 A-10	B-1 B-2 B-3	B-4 B-5 B-6	B-7 B-8 B-9 B-10					G-1 G-2 G-3	G-4 G-5 G-6	G-7 G-8					G-9 G-10						
出欠席確認 午前 401教室 (月～土 8:35) 午後 病院清掃配属先 (月～金 17:00) (土 13:00)	病院清掃配属	保存・補綴科 (4班)	ABCD																												
		3F再生歯科 3F一般歯科 (2班)	EF																												
		口腔外科 (1班)	G																												
		歯周科 (1班)	H																												
		初診科 (1班)	I																												
		小児歯科 (1班)	J																												
		放射線科 (1/2班)	K1～5																												
			特殊歯科 (1/2班)	K6～10																											
			矯正歯科 (1班)	L																											

[illegible]

平成26年度 臨床実習

平成26年度				9月																						
	内 容	方 法	形 式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
				月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
				第5クール																						
補綴科	実地・見学・介輔等		配 属	CDIJ																						
保存科	実地・見学・介輔等		配 属	EF												KL										
歯周科	実地・見学・介輔等		配 属	KL												EF										
口腔外科	実地・見学・介輔等 (含病棟見学)		配 属	AB												GH										
初診科	実地・見学・介輔等 予診(患者担当2回)	3～4名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	C-4 C-5 C-6	C-1 C-2 C-3	C-9 C-10	C-7 C-8					D-1 D-2 D-3	D-4 D-5 D-6	D-7 D-8 D-9	D-9 D-10					I-1 I-2 I-3	I-4 I-5 I-6	I-7 I-8 I-9	I-10 J-1 J-2			J-3 J-4 J-5
	予診補助 (予診時2回)	13:30- 14:00- 14:30-	配 属	D-1 D-2 D-3	D-4 D-5 D-6	D-7 D-8 D-9	D-9 D-10					C-1 C-2 C-3	C-4 C-5 C-6	C-7 C-8 C-9	C-9 C-10					A-1 A-2 A-3	A-4 A-5 A-6	A-7 A-8 A-9	A-10 B-4 B-5			B-5 B-7 B-8
SD診療室患者の カンファランス	カンファランス	3～4名 15:00～ (月～金曜日) 2回	配 属																	C-4 C-5 C-6	C-1 C-2 C-3	C-9 C-10 C-8	C-7 C-8			D-1 D-2 D-3
臨床検査科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属				G-9 G-10 H-1 H-2					H-5 H-6 H-9 H-10		G-1 G-2 G-3 G-4								A-9 A-10 B-1 B-2				
放射線科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属				H-5 H-6 H-7 H-8	H-5 H-6 H-7 H-8			G-5 G-6 G-7 G-8	G-5 G-6 G-7 G-8	G-9 G-10 H-3 H-4	G-9 G-10					B-5 B-6 B-7 B-8	B-5 B-6 B-7 B-8	A-5 A-6 A-7 A-8	A-5 A-6 A-7 A-8				
小児歯科	見 学 ・ 実 技	2～4名 終日 (月・木・金・土) 2回	配 属	G-4 G-5 G-6			G-7 G-8	G-9 G-10					G-1 G-2 G-3											A-9 A-10		A-7 A-8
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4～5名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	C-1 C-2 D-5 D-6	D-7 D-8 D-9 D-10	C-3 C-4 C-7 C-8	C-5 C-6 D-1 D-2	C-9 C-10 D-3 D-4			G-8 G-10 H-3 H-4	G-1 G-2 H-5 H-6	H-7 H-8 H-9 H-10	G-5 G-6 H-3 H-2	G-3 G-4											
再生歯科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属	G-7 G-8 H-9 H-10	G-7 G-8 H-9 H-10		G-1 G-2 G-3 G-4	G-1 G-2 G-3 G-4					H-5 H-6 H-7 H-8	H-5 H-6 H-7 H-8					A-7 A-8 B-9 B-10	A-7 A-8 B-9 B-10	A-1 A-2 A-3 A-4	A-1 A-2 A-3 A-4				
特殊歯科	見学・介輔・口頭試問	2～3名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属	H-1 H-2	H-5 H-6	H-7 H-8					H-3 H-4		H-9 H-10						B-3 B-4	B-1 B-2	B-5 B-6	B-7 B-8			B-9 B-10	
スポーツ健康歯科	見 学	通年で3症例	アポイント																							
顎関節咬合診療科 (痛み外来)	見 学	3名 5月～9月、10月～3月 終日、各々1回 (月～土曜日) 2回	アポイント																							
口腔インプラント科	見 学	アポイント 配属実習 指定日 13:30-16:30 (指定日) 1回	アポイント	CDIJ																						
			配属実習																							
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名 終日 (火・木曜日)	アポイント	CDIJ																						
技工室	見 学 ・ 実 技	2～3名 (月～金曜日) 1回																								
出欠席確認 午前 401教室 (月～土 8:35) 午後 病院清掃配属先 (月～金 17:00) (土 13:00)	病院清掃配属	保存・補綴科 (4班)	GHIJ																							
		3F再生歯科 2F→健康歯科 (2班)	KL																							
		口腔外科 (1班)	A																							
		歯周科 (1班)	B																							
		初診科 (1班)	C																							
		小児歯科 (1班)	D																							
		放射線科 (1/2班)	E1～5																							
特殊歯科 (1/2班)	E6～10																									
矯正歯科 (1班)	F																									

平成26年度 臨床実習

平成26年度				11月																											
	内 容	方 法	形 式	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21						
				金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金						
				第7クール																											
補綴科	実地・見学・介輔等		配 属	ABGH																											
保存科	実地・見学・介輔等		配 属	CD														IJ													
歯周科	実地・見学・介輔等		配 属	IJ														CD													
口腔外科	実地・見学・介輔等 (含病棟見学)		配 属	EF														KL													
初診科	実地・見学・介輔等 予診(患者担当2回)	3～4名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	H-1 H-2 H-3				H-4 H-5 H-6	H-7 H-8 H-9	H-10 B-1 B-2	B-3 B-4 B-5			B-6 B-7 B-8	B-9 B-10 A-1	A-2 A-3 A-4	A-5 A-6 A-7	A-8 A-9 A-10			E-7 E-8 E-9 E-10	E-1 E-2 E-3	E-4 E-5 E-6	H-1 H-2 H-3	H-4 H-5 H-6						
	予診補助 (予診時2回)	13:30- 14:00- 14:30-	配 属																												
SD診療室患者の カンファランス	カンファランス	3～4名 15:00～ (月～金曜日) 2回	配 属																												
臨床検査科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属	K-9 K-10 L-1 L-2							K-1 K-2 K-3 K-4						L-5 L-6 L-9 L-10 L-11				E-9 E-10 F-1 F-2										
放射線科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属					L-5 L-6 L-7 L-8	L-5 L-6 L-7 L-8	K-5 K-6 K-7 K-8	K-5 K-6 K-7 K-8					K-9 K-10 L-3 L-4	K-9 K-10 L-3 L-4			F-5 F-6 F-7 F-8	F-5 F-6 F-7 F-8	E-5 E-6 E-7 E-8	E-5 E-6 E-7 E-8								
小児歯科	見 学 ・ 実 技	2～4名 終日 (月・木・金・土) 2回	配 属							K-9 K-10	K-7 K-8		K-1 K-2 K-3				K-4 K-5 K-6			E-1 E-2 E-3											
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4～5名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	A-1 A-2 B-5 B-6				A-3 A-4 A-7 A-8	A-5 A-6 B-1 B-2	A-9 A-10 B-3 B-4	B-7 B-8 B-9 B-10			K-9 K-10 L-3 L-4	K-5 K-6 L-1 L-2	L-7 L-8 L-9 L-10 L-11	K-3 K-4 L-5 L-6							E-9 E-10 F-3 F-4							
再生歯科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属					K-1 K-2 K-3 K-4	K-1 K-2 K-3 K-4	L-5 L-6 L-7 L-8	L-5 L-6 L-7 L-8		K-7 K-8 L-9 L-10 L-11	K-7 K-8 L-9 L-10 L-11						E-7 E-8 F-9 F-10	E-7 E-8 F-9 F-10	E-1 E-2 E-3 E-4	E-1 E-2 E-3 E-4								
特殊歯科	見学・介輔・口頭試験	2～3名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属	L-3 L-4				L-1 L-2			L-9 L-10 L-11		L-7 L-8	L-5 L-6						F-1 F-2	F-3 F-4	F-5 F-6	F-7 F-8	F-9 F-10							
スポーツ健康歯科	見 学	通年で3症例	アポイント																												
顎関節咬合診療科 (痛み外来)	見 学	3名 5月～9月、10月～3月 終日、各々1回 (月～土曜日) 2回	アポイント																												
口腔インプラント科	見 学	アポイント 配属実習 指定班 13:30～16:30 (指定日) 1回	アポイント 配属実習	ABGH																											
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名 終日 (火・木曜日)	アポイント	ABGH																											
技工室	見 学 ・ 実 技	2～3名 (月～金曜日) 1回																													
出欠席確認 午前 401教室 (月～土 8:35) 午後 病院清掃配属先 (月～金 17:00) (土 13:00)	病院清掃配属	保存・補綴科 (4班)		GHIJ																											
		3F再生歯科 3F-7腫瘍歯科 (2班)		KL																											
		口腔外科 (1班)		A																											
		歯周科 (1班)		B																											
		初診科 (1班)		C																											
		小児歯科 (1班)		D																											
		放射線科 (1/2班)		E1～5																											
		特殊歯科 (1/2班)		E6～10																											
		矯正歯科 (1班)		F																											

平成26年度 臨床実習

平成26年度				1月																							
	内 容	方 法	形 式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
				木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				第9クール																							
補綴科	実地・見学・介輔等		配 属	EFKL																							
保存科	実地・見学・介輔等		配 属	AB																							
歯周科	実地・見学・介輔等		配 属	GH																							
口腔外科	実地・見学・介輔等 (含病棟見学)		配 属	CD																							
初診科	実地・見学・介輔等 予診(患者担当2回)	3～4名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属	J-1							J-5	J-7	J-4														
	予診補助 (予診時2回)	13:30- 14:00- 14:30-	配 属	J-2							J-6	J-8	J-9														
				J-3									J-10														
SD診療室患者の カンファランス	カンファランス	3～4名 15:00～ (月～金曜日) 2回	配 属																								
臨床検査科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属												1-5									J-3			
												1-6												J-4			
																	1-7									J-7	
																		1-8									J-8
放射線科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属												J-1	J-1						1-1	1-1				
												J-2	J-2										1-2	1-2			
														J-9	J-9									1-3	1-3		
														J-10	J-10										1-4	1-4	
小児歯科	見 学 ・ 実 技	2～4名 終日 (月・木・金・土) 2回	配 属													J-1	J-4								J-7		
														J-2	J-5										J-8		
														J-3	J-6												
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4～5名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属																		J-7	1-9	1-1	1-5			
																						J-8	1-10	1-2	1-6		
																						J-9	J-3	J-5	J-1		
																						J-10	J-4	J-6	J-2		
再生歯科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属													1-9	1-9					1-5	1-5				
																	1-10	1-10					1-6	1-6			
																	J-3	J-3					J-1	J-1			
																	J-4	J-4					J-2	J-2			
特殊歯科	見学・介輔・口頭試問	2～3名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属												1-1	1-3	1-5	1-7	1-9								
														1-2	1-4	1-6	1-8	1-10									
スポーツ健康歯科	見 学	通年で3症例	アポイント																								
顎関節咬合診療科 (痛み外来)	見 学	3名 5月～9月、10月～3月 終日、各々1回 (月～土曜日) 2回	アポイント																								
口腔インプラント科	見 学	アポイント 配属実習 指定班 13:30-16:30 (指定日) 1回	アポイント																								
			配属実習																								
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名 終日 (火・木曜日)	アポイント																								
技工室	見 学 ・ 実 技	2～3名 (月～金曜日) 1回																									
出欠席確認	病院清掃配属	保存・補綴科	(4班)																								
		3F再生歯科 2Fスポーツ健康歯科	(2班)																								
口腔外科		(1班)																									
歯周科		(1班)																									
初診科		(1班)																									
小児歯科		(1班)																									
放射線科		(1/2班)																									
特殊歯科		(1/2班)																									
矯正歯科		(1班)																									
午前 401教室 (月～土 8:35)																											
午後 病院清掃配属先 (月～金 17:00) (土 13:00)																											

平成26年度 臨床実習

平成26年度				3月																	
	内 容	方 法	形 式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
				日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
				第10クール																	
補綴科	実地・見学・介補等		配 属	ABGH																	
保存科	実地・見学・介補等		配 属	IJ																	
歯周科	実地・見学・介補等		配 属	CD																	
口腔外科	実地・見学・介補等 (含病棟見学)		配 属	KL																	
初診科	実地・見学・介補等 予診(患者担当2回)	3～4名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属					F-1 F-2 F-3													
	予診補助 (予診時2回)	13:30- 14:00- 14:30-	配 属																		
SD診療室患者の カンファランス	カンファランス	3～4名 15:00～ (月～金曜日) 2回	配 属																		
臨床検査科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属																		
放射線科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属		E-1 E-2 E-3 E-4	E-1 E-2 E-3 E-4															
小児歯科	見 学 ・ 実 技	2～4名 終日 (月・木・金・土) 2回	配 属						F-9 F-10	F-1 F-2											
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4～5名 終日 (月～金曜日) 4回	配 属		E-5 E-6 F-1 F-2	F-7 F-8 F-9 F-10	E-1 E-2 F-5 F-6	E-3 E-4 E-7 E-8	E-9 E-10 F-3 F-4												
再生歯科	見 学 ・ 実 技	4～5名 終日2日連続 (月～金曜日) 2回	配 属		E-9 E-10 F-3 F-4	E-9 E-10 F-3 F-4															
特殊歯科	見学・介補・口頭試問	2～3名 終日 (月～金曜日) 2回	配 属																		
スポーツ健康歯科	見 学	通年で3症例	アポイント																		
顎関節咬合診療科 (痛み外来)	見 学	3名 5月～9月、10月～3月 終日、各々1回 (月～土曜日) 2回	アポイント																		
口腔インプラント科	見 学	アポイント 配属実習 指定班 13:30-16:30 (指定日) 1回	アポイント																		
			配属実習																		
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名 終日 (火・木曜日)	アポイント																		
技工室	見 学 ・ 実 技	2～3名 (月～金曜日) 1回																			
出欠席確認 午前 401教室 (月～土 8:35) 午後 病院清掃配属先 (月～金 17:00) (土 13:00)	病院清掃配属	保存・補綴科 (4班)		ABCD									GHIJ								
		3F再生歯科 3F→健康歯科 (2班)		EF									KL								
		口腔外科 (1班)		G									A								
		歯周科 (1班)		H									B								
		初診科 (1班)		I									C								
		小児歯科 (1班)		J									D								
		放射線科 (1/2班)		K1～5									E1～5								
		特殊歯科 (1/2班)		K6～10									E6～10								
		矯正歯科 (1班)		L									F								

OSC
AT

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：初診科
担当教員名：伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，青木伸一郎，遠藤弘康，岡本康裕 梶本真澄，海老原智康，李 潤喜，須永 肇，清宮明日香
実施場所 初診科診療室 会議室
① ユニット課題 1) 医療面接 2) 臨床推論 3) 初期計画の立案 4) 良好な患者関係の構築
② 終了時の目標(アウトカム目標) 診断情報の収集に必要な診察手技およびコミュニケーション技法を習得し，主要疾患や主要症状に対するプライマリー・ケアが実践できるようになる。
③ 到達目標 (GIO) 問題志向型医療(POS)に則って主要疾患や主要症状に対するプライマリー・ケアが実践できるようになるために，診断情報の収集に必要な診察手技およびコミュニケーション技法を習得するとともに，診断情報を収集・分析・評価し，問題解決するための計画の立案，そしてプライマリー・ケアへという診断プロセスを問題指向型診療録 (POMR)の作成を通して習得する。
④ 行動目標 (SBOs) 1) 初診患者において面接技法に則った医療面接を行える。 2) 正確で十分な病歴（患者の社会的・経済的・心理的背景を含む）を聴取できる。 3) 得られた病歴や所見を整理し，診療録の形式で記載できる。 4) 初診患者において得られた所見から異常所見を抽出し，それを手がかりに仮説演繹的な診断思考を行うことができる。 5) エックス線写真から，典型的な読像所見を抽出できる。 6) 口腔における主要疾患について診断できる。 7) 口腔における主要疾患について，基本的な治療方針（初期計画）を立案できる。 8) 患者の現在の病態について，これまでの経過を踏まえて担当医に報告できる。 9) 患者に適切な医療面接スキルを使用することができる。 10) 患者背景に考慮したコミュニケーション技法を使用できる。
⑤ 学習方法 (LS) 1) 初診実習（患者実習） 2) 予診実習（患者実習） 3) 医療面接ビデオのトランスクリプト 4) C.D.C （症例示説）
⑥ 評価方法 (EV) 評価シートおよび実習時の行動観察、提出物により総合的に評価する。
⑦ 備 考（その他留意事項等） 1) 初診患者は応急処置を要することがあるので，適切な対応とやめる患者の助けになりたいという真摯な気持ちで実習を行うこと。 2) 実習中は患者の対応に配慮し，私語は慎むこと。 3) 臨床実習にふさわしい態度・身なり・服装で臨むこと。 4) 集合時間を厳守すること。 5) 不明な点は，学生同士で解決せず教員に確認すること。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：臨床検査科
担当教員名：福本雅彦、深津晶、布施恵、市村真奈、田中宏征、小峯千明、小西賀美
実施場所：第5会議室、407教室
① ユニット課題 全身疾患を有する患者の歯科診療時に必要な検査項目を理解し、それらの検査を実施し、その検査結果を分析する。
② 終了時の目標(アウトカム目標) 臨床検査の実践
③ 到達目標 (GIO) 4年生までに学習した基礎知識をもとに、臨床の現場で患者によりよい歯科診療を実践するために必要な臨床検査の知識・技能・態度を習得する。
④ 行動目標 (SBOs) 1. 歯科臨床における臨床検査の目的・概要を説明できる。 2. 外来で行われている検査方法を理解し説明できる。 3. 静脈血の採血ができる。 4. 尿検査ができる。 5. 臨床検査データの基本的分析が出来る。 6. 全身状態を考慮した歯科診療時の注意点を説明できる。
⑤ 学習方法 (LS) 1. 実習方法 試験、実技、口頭試問、レポート 2. 実習内容 1) 試験 歯科診療に必要な臨床検査の目的・概要・基準値等について。 2) 実技 尿検査および静脈血採血 (相互実習) 検査結果データの分析 3) 口頭試問 実習中に担当医が出題する。実習を行うための知識だけでなく、検査項目、検査理由、基準値等について質問する。 4) レポート 臨床検査データの分析さらにその結果に配慮した歯科診療時の注意点、および臨床で遭遇する機会の多い全身疾患についてのレポートを出題する。
⑥ 評価方法 (EV) 実習態度、試験、口頭試問、分析レポートの結果をふまえ、総合的に評価する。
⑦ 備 考 (その他留意事項等) 1. 持ち物 評価表、麻酔・救急・針キット、ガイダンス時に配布した資料、秒針付時計、筆記用具 2. 分析レポートは2週間以内に担当医に提出する。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：放射線科

担当教員名：金田 隆，池島 厚，小椋一朗，佐々木悠介，徳永悟士，原 慶宜，栗原健二

実施場所：放射線科診療室

① ユニット課題

- 1) 口内法エックス線検査を行う。
- 2) パノラマエックス線検査を行う。
- 3) デジタルエックス線画像システムを操作する。
- 4) 頭部単純エックス線検査を見学する。
- 5) CT, MRIおよび超音波検査を見学する。
- 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断を行う。

② 終了時の目標（アウトカム目標）

- 1) 口内法エックス線検査ができるようになる。
- 2) パノラマエックス線検査ができるようになる。
- 3) 口腔・顎顔面領域の画像診断ができるようになる。

③ 到達目標（GIO）

歯科医師として顎顔面領域のエックス線撮影および画像診断ができるようになるために、各種画像検査法、口腔・顎顔面領域の正常像および病態像を修得する。

④ 行動目標（SBOs）

- 1) 口内法エックス線検査ができる。
- 2) パノラマエックス線検査ができる。
- 3) デジタルエックス線画像システムの操作ができる。
- 4) 頭部単純エックス線検査が説明できる。
- 5) CT, MRIおよび超音波検査が説明できる。
- 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断ができる。

⑤ 学習方法（LS）

1. 放射線科配属 1（前半 2 日間）
 - 1) 放射線診療業務：当日の担当医の指導のもと、通常放射線診療に参加し、多くのエックス線写真を読影して、正常像および病態像を修得する。
 - 2) 画像検査見学：顎顔面領域疾患に必要な頭部単純エックス線検査、CT, MRI, 超音波検査等を見学する。担当医により画像検査法や画像解剖等の口頭試問を受ける。
 - 3) 撮影実習：相互実習およびマネキンを用いて、口内法エックス線撮影および画像処理を行い、担当医により評価を受ける。
2. 放射線科配属 2（後半 2 日間）
 - 1) 放射線診療業務：当日の担当医の指導のもと、通常放射線診療に参加し、多くのエックス線写真を読影して、正常像および病態像を修得する。
 - 2) 画像検査見学：顎顔面領域疾患に必要な頭部単純エックス線検査、CT, MRI, 超音波検査等を見学する。担当医により画像検査法や画像解剖等の口頭試問を受ける。
 - 3) Teaching file：PCを用いて、症例を読影し、読影報告書を作成する。担当医により画像診断の口頭試問を受ける。
3. 他科配属および配当患者の撮影実習
 - 1) 配当患者の撮影は担当学生が必須とする。
 - 2) 他科配属中に撮影依頼があった場合、積極的に撮影実習を行うこと。
 - 3) 口内法エックス線検査 3 例およびパノラマエックス線検査 2 例を必須とする。また、撮影後の読影は 2 週間以内に必ず行う。

⑥ 評価方法 (EV)

- 1) 放射線科配属：口頭試問，実習態度，Teaching file の読影所見等にて行う。
- 2) 他科配属および担当患者の撮影実習：エックス線撮影および読影所見にて評価する。
- 3) 実技(80%)および実習態度(20%)によって評価点とする。

⑦ 備 考 (その他留意事項等)

1) 参考図書

- (1) 歯科放射線学実習書 (日本大学松戸歯学部放射線学講座編)
- (2) Q&Aで学ぶ歯科放射線学：SBOs講義 (学建書院)
- (3) 歯科放射線診断 teaching file 第2版 (砂書房)
- (4) 画像でみる歯科放射線(CDR) (わかば出版)

2) 実習上の諸注意

- (1) 診療室では通常の診療が行われているため，私語は慎むこと。
- (2) 機器の取扱いには十分注意すること。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：保存科(保存修復)
担当教員名：平山 聡司、鈴木 英明、神谷 直孝、岡田 珠美、森 俊幸、岩井 啓寿、 壹岐 宏二、関根 哲子、田久保 智子、大塚 一聖
実施場所 病院棟 2 階 保存科診療室
① ユニット課題 修復治療の診療介助・見学・自験、自習ノート作成および見学症例に関連した口頭試問
② 終了時の目標(アウトカム目標) 簡単なコンポジットレジン修復ができる。
③ 到達目標 (GIO) 歯質欠損や審美障害を有する歯の機能と審美性を回復し、適切に維持・管理できるようになるために、硬組織疾患の修復に必要な臨床的知識、技能、態度を身につける。
④ 行動目標 (SBOs) 1)歯の硬組織疾患の診断に必要な検査ができる。 2)歯の硬組織疾患について、患者への簡単な病状説明ができる。 3)検査結果から適切な治療方針を選択し、処置内容について患者への説明を的確に行える。 4)象牙質知覚過敏症に対する処置ができる。 5)修復前準備(浸潤麻酔、ラバーダム防湿、歯肉排除、隔壁設置)ができる。 6)MI に基づいた齲窩処置ができる。 7)間接覆髄法ができる。 8)簡単なコンポジットレジン修復ができる。 9)間接修復の印象採得、咬合採得、仮封ができる。 10)見学症例に関連する学習項目を自習ノートに記載し詳細に説明できる。
⑤ 学習方法 (LS) 1)診療介助・見学：保存修復学講座担当医のもとで行った修復処置についてミニカルテ(別紙)に症例内容を詳細に記載し、介助者は介助の評価および確認印を、見学者は確認印のみを受け る。 2)自習ノート作成：見学症例に関連する学習項目を一覧(別紙)から選択し、自習ノートを作成 する。配属3回目までに学習項目すべてについての作成を終了すること。 3)口頭試問：配属ごとに1回(臨床実習期間中に合計3回)、介助・見学症例に関する口頭試問を 受け合格すること。予約台帳(後日設置)を元に3回とも異なる担当医とアポイントをとること。 4)自験：評価シート(別紙)の全項目について自験を行い、合格するまで繰り返し実施するこ と。
⑥ 評価方法 (EV) 1)介助評価：40% 2)口頭試問評価：30% 3)自験評価：20% 4)臨床実習態度(期限の遵守、自習ノート作成の達成状況)：10%
⑦ 備 考 (その他留意事項等) 1)検印表と評価シートは毎回必ず持参し、必要項目を記載し当日中に検印を受けること。 2)見学は基本的に介助1名、見学2名の計3名とする。ただし、症例数が少ない処置は、担当医が 許可した場合のみ例外として計5名まで見学可とする。 3)自習ノートは学習項目一覧(別紙)の番号順になるよう作成すること。記載の順番は問わな い。必ず自筆(ワード文書・切り貼り・コピー不可)で記入し、参考書籍をページ数まで明記す る。 4)自験できる機会は限られている。いつでも実施できる心構えで日々の学習を怠らないこと。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：保存科(歯内療法)
担当教員名：松島潔、辻本恭久、川島正、岡部達、神尾直人、吉田陽子、諸橋利朗、馬場俊晃、染谷ひとみ、斉藤梨紗
実施場所：病院診療室
① ユニット課題：歯内治療における診療介補・見学・自験および口頭試問
② 終了時の目標(アウトカム目標): (1)抜髄法(簡単なもの)ができる。 (2)感染根管治療(簡単なもの)ができる。 (3)根管充填法(簡単なもの)ができる。
② 到達目標 (GIO)：歯内療法治療の診療介補と処置が適切に行えるようになるため、歯内療法治療に必要な臨床的知識、技能および態度を修得する。
③ 行動目標 (SBOs) (1) 歯髄炎・根尖性歯周組織疾患の診療、検査、診断が適切にできる。 (2) 適切なアクセスキャビティプレパレーションが適切にできる。 (3) ラバーダム防湿が適切にできる。 (4) 電氣的根管長測定が適切にできる。 (5) 根管拡大、根管洗浄が適切にできる。 (6) 根管貼薬が適切にできる。 (7) 根管充填が適切にできる。 (8) 抜髄が適切にできる。
④ 学習方法 (LS) 1) 実施方法：各項目の口頭試問に合格したものは担当医に申し出て実習を評価表に沿って行うことができる。実習は配属中の患者あるいはSD患者で行う。 3) 臨床見学は2名までとする。(介補者は除く) 4) 配属中は配属された担当医の指示に従う。
⑤ 評価方法 (EV) 1) 評価表のすべての実習を行うことを目標とし、評価表および臨床実習記録表により成績をつける。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) 1) 口頭試問および検印は速やかに受ける。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：歯周科(予防管理科)
担当教員名：小方頼昌、吉野祥一、中山洋平、高井英樹、岡野千春、松村浩禎、武井美佑紀、廣松勇樹、豊嶋 泉、井上英子、薦森麻衣、清水智生
実施場所：付属病院歯周科診療室
① ユニット課題：歯周治療における介補・実技の実施および実技試験
② 終了時の目標(アウトカム目標) 歯周組織検査を正確に行い、浸潤麻酔下で歯肉縁下の歯石を除去できる。
③ 到達目標 (GIO)：実際の臨床を通じて、歯周治療を実施するための技能、態度を習得し、総合的に歯周治療を理解する。
④ 行動目標 (SBOs) 1)問診ができる。2)歯垢染色ができる。3)プラークコントロールレコードの記入ができる。4)ブラッシング指導ができる。5)スケーリング・ルートプレーニングが実施できる。6)PMTCが実施できる。7)歯周外科治療の種類の説明ができる。8)歯周外科治療で使用する器具の名称と使用法が説明できる。9)サポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)およびメインテナンスで行う項目について説明できる。
⑤ 学習方法 (LS) 1.実習方法：診療見学・診療介補および実技、歯周外科治療の見学、症例検討会(CPC)、口頭試問、日直 2.実習内容： 1)Dr配属における診療見学・診療介補・実技試験・口頭試問 <診療見学、診療介補> 実習方法と実習項目の表を参照。症例数は問わない。1週間に1人のDrに配属する。午前午後で異なる場合があるのでローテーション表参照(歯周科診療室に掲示) 歯周科担当患者の配当を各自1名受けること。 <実技試験> 2週間の配属期間中に、担当医の患者さんに対して、歯周精密検査、ブラッシング指導、スケーリング、SRPおよびPMTCの中から3回実技試験を行う。 <口頭試問> 2週間の配属期間中に、担当医から歯周治療学SBOsノートから3あるいは4課題を受け、歯周治療学SBOsノートを作成し、口頭試問を受ける。 <歯周外科治療の見学> 歯周外科治療の見学者には、歯周外科治療の予約が決まり次第、順に5あるいは6名(原則的に各班の前・後半)に手術日の連絡があるので、それに従って見学を行う。また、正当な理由で見学ができない場合は、その旨を担当医に連絡し、担当医に見学日時の変更を受ける。歯周外科治療の見学を行った学生は、その症例内容に応じたレポートを作成し、レポート提出に際して口頭試問を受ける。レポート、口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。 <症例検討会：CPC> 配属期間に関わらず、班ごとに症例検討会に参加する。CPCは、原則として毎週金曜日、午後6時より第4実習準備室にて行うので、班ごとに決められた日時(別紙配布)に参加すること。正当な理由で参加できない場合には、事前にその旨を申し出て予備日に参加することを認める。 <歯周治療学SBOsノート> CPCに参加した学生は担当医から課題を受け、歯周治療学SBOsノートを作成し口頭試問を受ける。担当医は院内番号に従って定める(下記参照)。口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。 1; 清水 2; 高井 3; 井上 4; 松村 5; 薦森 6; 豊嶋 7; 吉野 8; 岡野 9; 中山 10; 武井 11, 12; 廣松 <日直配属> 夏期および冬期の一定期間を日直配属とし、診療見学・診療介補を行う。

⑥ 評価方法 (EV)

1) Dr配属における診療見学・診療介補・実技試験・口頭試問

<診療見学, 診療介補>

症例数は問わない。原則として診療室における指導責任者、担当医による指導に従い、見学・介補および実技を行うが、症例内容については必要に応じて随時、口頭試問、レポートを課す。

<実技試験>

歯周精密検査, ブラッシング指導, スケーリング, SRPおよびPMTCの中から3回実技試験を行う。年間6週配属のため18回行う。各項目最低3回は行うこととする。採点項目は各評価表を参照のこと。

<口頭試問>

歯周治療学SBOsノートの作成内容と、口頭試問の評価で1項目5点満点で評価 (20項目なので計100点満点)

<歯周外科治療の見学>

レポート提出に際して口頭試問を受ける。レポート, 口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。指定された回数に対して、検印を受けて満点とする。

<症例検討会: CPC>

歯周治療学SBOsノートに作成した歯周外科治療の内容 (年2回, 1回目4項目, 2回目3項目) と、口頭試問で採点し、5段階評価とする。

⑦ 備 考 (その他留意事項等) 実習中の諸注意

1) 配属中は、日直または指導責任者、担当医の指示に従う。また、班ごとに指導責任者の指示に従い、担当医と密接に連絡を取りながら、実習が円滑に行えるように計画的に実習を遂行すること。

2) 日直配属の準備などについても、担当医の指示を仰ぐこと。担当医、指導責任者の許可なく、診療室に不在の学生は、実習を放棄したものとみなす。万が一欠席する場合は、担当医の許可を得て適切な指示を仰ぐこと。

3) 日直時の見学, 介補および実技は日直印のみとする。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：補綴科（クラウンブリッジ）
担当教員名：會田雅啓，小林 平，若見昌信，大村祐史，田中孝明，後藤治彦，青木直子，内堀聡史，河相安彦，成田紀之，飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本 統，中田浩史，林 幸男，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口信之，井上正安，伊藤奈那，小出恭代，佐藤貴信，末光弘宣，義隆淑子，植木克昌，古賀麻奈花
実施場所：病院診療室，院内技工室，職員技工室，医員用技工室
① ユニット課題 見学・介補・自験を行った患者におけるクラウンブリッジ製作の治療過程において，その過程を理解し，治療に必要な知識と態度，技能を習得する。
② 終了時の目標(アウトカム目標) 口腔内でタービンパーを使用した操作が行える。
③ 到達目標（GIO） クラウン・ブリッジの診査・診断，治療計画，術式および予後について見学，介補，自験，技工を通じ理解し，その基本的臨床能力を身につける。
④ 行動目標（SBOs） 1) クラウンブリッジの診査項目を理解し行うことができる。 2) 予備印象を採得することができる。 3) クラウンブリッジの設計を含めた治療計画を立案することができる。 4) 支台築造の目的と方法について述べるができる。 5) 歯肉圧排の目的を理解し行うことができる。 6) クラウンおよびブリッジの支台歯形成について述べるができる。 7) 最終印象の方法を述べるができる。 8) プロビジョナルレストレーションの作製および仮着の要件について述べるができる。 9) 咬合支持に応じた咬合採得を理解し行うことができる。 10) フェイスボウトランスファーの意義と操作方法を理解し述べるができる。 11) シェードテイキングの要点について述べるができる。 12) 咬合器の目的と取り扱いについて述べるができる。 13) クラウンブリッジ試適時における診査項目を理解することができる。 14) クラウンブリッジの仮着を理解し行うことができる。 15) クラウンブリッジの装着について述べるができる。 16) クラウンブリッジの術後管理について指導ができる。 17) 装着後のトラブルおよび変化の原因と対処法について述べるができる。
⑤ 学習方法（LS） 見学・介補・自験を主体として担当教員との2～3人でのスモールグループによる実習を行う。見学・介補を行った際には臨床実習見学・介補チェック表に検印をもらい症例チェックに使用し事後学習の資料に用いる。
⑥ 評価方法（EV） 1) 配属クールの出席評価 2) 配属クールの評価表 3) その他、課題に対する到達度を含め総合的に評価を行う。
⑦ 備 考（その他留意事項等） 事前学習の上で見学・介補を行い，不明な点は事後補うこと。。自験においては途中で医員への交代を促す場合がある。別途必要な評価表・評価項目を追加配布する。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：補綴科（総義歯）
担当教員名：會田雅啓・河相安彦・成田紀之・小林 平・飯島守雄・大村祐史・若見昌信・田中孝明・林 幸男・伊藤誠康・大久保昌和・木本 統・中田浩史・石井智浩・後藤治彦・神谷和伸・矢崎貴啓・池口伸之・井上正安・小出恭代・佐藤貴信・末光弘宣・義隆淑子・伊藤菜那・植木克昌・青木直子・内堀聡史（順不同）
実施場所：附属病院補綴科診療室，院内技工室，職員技工室，医員用技工室，Web Class
① ユニット課題：Web Classでの自学自習と総義歯配当症例および見学症例を統合し総義歯治療の基本を学ぶ。
② 終了時の目標(アウトカム目標)：問題点の少ない総義歯を指導医のもとに製作できる。
③ 到達目標（GIO）：総義歯の診査・診断，総義歯製作および予後調整の基礎知識と基本的技能を身につける。
④ 行動目標（SBOs） 1）旧義歯の診査・診断項目を説明し実施できる。 2）予備印象を採得することができる。 3）模型上の解剖学的ランドマークについて説明できる。 4）床外形を推定することができる。 5）筋圧形成の目的と方法を説明し部分的に行える。 6）最終印象の目的と方法を説明できる。 7）ボクシング・作業模型の要件を説明し作製できる。 8）適切な咬合床の形態を説明し作製できる。 9）アーラインと床後縁との関連を理解し設定できる。 10）顎の対向関係位の設定の術式と背景を説明できる。 11）フェイスボウトランスファーの意義と術式を説明できる。 12）ゴシックアーチの意義と術式を説明し解釈を行える。 13）人工歯の選択基準を理解し，人工歯選択を行える。 14）両側性平衡咬合と片側性平衡咬合を説明できる。 15）仮床義歯試適時における診査項目を説明できる。 16）完成義歯装着時の診査項目を説明できる。 17）総義歯装着時の患者指導を行うことができる。 18）総義歯装着後の調整を行うことができる。 19）総義歯治療全体の過程と術式を説明できる。

⑤ 学習方法 (LS) :

Step 1. 3年次のWeb classの問題を解きCBTレベルの基礎知識を再確認する。

Step 2. CBTレベルの基礎知識がない者は自学自習と教員への質問で解決を試みる。

Step 3. 院内実習を通じ基礎知識と臨床を統合し、知識レベルをプレカンファランスに対処できるレベルへ向上させる。

Step 4. プレカンファランスでの学習で総義歯治療を包括的に理解し、臨床実習3のカンファランスに対処できるようにする。

Step 5. Web class試験に対する学習で国家試験に対応できるようにする。

⑥ 評価方法 (EV) :

1. Web classでの試験 (日程は後日連絡する)

2. 配当症例治療時の出席印および実技評価

3. 配属期間中の知識に関する評価

4. プレカンファランスの評価

⑦ 備 考 (その他留意事項等)

1. 臨床実習の期間中に総義歯患者を1班の前後半に各1名配当する。

2. 配当患者による実習は患者さんの好意によって行われ、総義歯実習の主要部であるため欠席は厳禁とする。

3. 配当症例では異なる実技5項目を実施することをミニアムリクワイアメントとする。4 4. 実技は指導医が診療当日に担当学生を指名し実施するので、学生は当日行う診療の実技評価表をもとに自学自習を行った上で診療に望むこと。

5. 治療前後にはWeb classや参考図書を利用し自学自習を行うこと。

6. Web Class試験は臨床実習2終了前に行う (日程は後日連絡する)。

7. 参考図書 1) 無歯顎補綴治療学 医歯薬出版、2) 図説無歯顎補綴学 一理論から装着後の問題解決まで一学建書院

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：補綴科（局部床義歯）
担当教員名：會田雅啓・河相安彦・成田紀之・小林 平・飯島守雄・大村祐史・若見昌信・田中孝明・林 幸男・伊藤誠康・大久保昌和・木本 統・中田浩史・石井智浩・後藤治彦・神谷和伸・矢崎貴啓・池口伸之・井上正安・小出恭代・佐藤貴信・末光弘宣・義隆淑子・伊藤菜那・植木克昌・青木直子・内堀聡史（順不同）
実施場所：附属病院診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室、臨床実習室
① ユニット課題： 1. 診療に必要な基本的な知識を習得する。 2. 相互実習によりチェックバイトの採得の技能と半調節性咬合器の顎路調整を行う技能を習得する。 3. SGDによる症例検討を通して診査・診断・治療計画の立案までの能力を獲得する。 4. SD配当患者または配属期間中に就いた患者における局部床義歯製作の治療過程において、見学・介補および実技を行い、局部床義歯製作の過程を理解し、治療法を習得する。
② 終了時の目標(アウトカム目標)：簡単な欠損様式の局部床義歯を指導医のもとに製作できる。
③ 到達目標（GIO）：患者個々に適した局部床義歯を作製する基本的臨床能力を身につけるために必要な診査・診断、術式および予後に関する知識、技能および態度を習得する。
④ 行動目標(SBOs) ① 補綴歯科治療に必要な器具・器材を適切に使用することができる。 ② 補綴歯科治療に必要な検査機器を適切に使用することができる。 ③ 可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ④ 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 ⑤ 可撤性義歯の構成要素を説明できる。 ⑥ 義歯の設計を適切にできる。 ⑦ 口腔内診察および検査結果に基づいて義歯の治療計画の立案が適切にできる。(予備印象と研究模型の製作を含む) ⑧ 治療計画に基づいて適切な前処置(マウスプレパレーション)を行なうことができる。 ⑨ 印象採得の種類と方法を説明できる。 ⑩ 筋圧形成を適切に実施できる。 ⑪ 印象採得を適切に行なうことができる。(個人トレーの製作を含む) ⑫ 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑬ 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 ⑭ 咬合採得を適切に行なうことができる。 ⑮ 咬合器を適切に調整することができる。

⑩ 人工歯を適切に選択することができる。 ⑪ 仮床義歯試適時の診査を適切に行なうことができる。 ⑫ 完成した義歯を患者に適切に装着することができる。 ⑬ 患者に対して義歯使用上の注意点について説明できる。 ⑭ 義歯装着後の調整を適切に行なうことができる。 ⑮ 義歯装着後の定期健診を実施することができる。 ⑯ 義歯装着後の修理、再適合を適切に行なうことができる。 ⑰ 患者の苦痛に配慮した診療介補および処置ができる。 ⑱ リングクラスプのワックスアップができる。
④ 学習方法 (LS) ③④⑤⑨⑫⑬ 臨床実習期間中に自習 ⑥⑦ 臨床実習期間中の補綴配属中にSGDを行う (学生セミナー室) ⑪⑭⑮ 臨床実習期間中の補綴配属中に相互実習 (臨床実習室) ①②⑥⑦⑧⑩⑪⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔ 臨床実習期間中に見学・介補・実技
⑤ 評価方法 (EV) ③④⑤⑨⑫⑬については前半にWebClassによる試験。 見学・介補については口頭試問による知識とチェックシートによる態度の評価を行う。 実技については実技評価表による評価を行う。 SGDについてはレポートにより評価する。 臨床実習の期末にOSCATとWebClassによる試験。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) SGDと相互実習についての詳細は別途通知する。 リングクラスプのワックスアップの実技については別途通知する。 OSCATとWebClassによる試験については別途通知する。

診療科名:口腔外科
担当教員名: (顎顔面外科) 近藤壽郎、池谷美和、伊藤耕、高橋康輔、青木暁宣、石上大輔、岩井聡、河島睦、植木宏之 (口腔外科) 小宮正道、西村均、田中茂男、萩原美緒、山口桜子、羽田紗綾、堀内真千代、飯塚普子、深田朱里
実地場所:診療室、手術室、病棟
①ユニット課題 口腔外科領域の的確な処置(単純拔牙・難拔牙・埋伏歯拔牙・外科小手術)を行えるようにする。
② 終了時の目標(アウトカム目標) 指導医の元で単純拔牙が行える。
③到達目標(GIO) 単純拔牙を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。
④行動目標(SBOs) 1. 口腔外科外来診療の流れを理解し、患者に配慮した行動ができる。 2. 口腔外科外来小手術で使用する器材の使用方法が説明できる。 3. 処置前・処置後に患者へ注意事項の説明ができる。 4. 処置前に患者のバイタル測定ができる。 5. 口腔外科領域における的確な処置に必要な器材を準備することができる。 6. 適切な口腔内消毒が実施できる。 7. 適切な手指消毒と滅菌グローブの装着ができる。 8. 処置の介補ができる。 9. 抜糸を実施できる。 10. 縫合を実施できる。 11. 処方箋が記入できる。 12. 単純拔牙の局所麻酔が実施できる。 13. 指導医の指示のもとに単純拔牙が実施できる。 14. 埋伏歯の術式が説明できる。
⑤学習方法(LS) 2、14については講義 1、3、4、5、6、7、12については相互実習 1、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13については患者実習 9、10については模型実習 14については自習
⑥評価方法(EV) 講義は平常試験で評価する。 口腔外科配属中は指導医の元で実施症例のみ評価を行う。
⑦備考(その他留意事項等) 準備症例、介補症例、実技症例の達成度を評価する。1クール目に評価表①、2クール目に評価表②、3クール目に評価表③の項目について評価する。評価表①②は最低目標を60点とし、これに到達できない場合は到達するまで次の評価表には進めないものとする。評価表③は最低目標18点とする。 また見学症例に関しては評価の加点とする。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：矯正科
担当教員名：葛西一貴、今村隆一、山口 大、小野修一、五関たけみ、榎本 豊、齋藤勝彦、根岸慎一、徳永理利、小堀理恵、石井かおり、清水真美
実施場所 1)分析・治療方針の立案：第3・第3B会議室、学生セミナー室 2)症例見学・介助：矯正科診療室
① ユニット課題 1)混合歯列期・外科矯正症例の分析・治療方針の立案 2)矯正治療の症例見学・介助 3)レポート作成・口頭試問 4)精密検査の見学・介助
② 終了時の目標(アウトカム目標) 歯科医療人として患者個人を尊重した適切な対応が可能になる知識・技能を習得する。
③ 到達目標 (GIO) 基本的歯科矯正治療を実践できるようになるために必要な分析・治療計画の立案および介補を習得する。
④ 行動目標 (SBOs) 1)模型分析が実施できる。 2)セファログラム分析が実施できる。 3)模型・セファログラム分析から診断できる。 4)診断から治療計画を立案できる。 5)患者に配慮した介助ができる。
⑤ 学習方法 (LS) 1)分析・治療方針の立案 A.模型分析：歯列長径・幅径および歯槽基底長径・幅径を計測しポリゴン図表に記載する。B.セファログラム分析：トレースから必要な計測を行いポリゴン図表を完成する。C.診断・治療方針の立案から矯正装置を選択、治療による変化を検討する。 2)症例見学：矯正配属日に見学・介助を4回以上（1回以上は介助・混合歯列症例の見学2回以上）を行い、見学内容についてのレポート作成を行う。 3)精密検査の見学・介助を1回行う。
⑥ 評価方法 (EV) 1)分析・治療方針の立案(50%)：評価シートにより評価を行う。 2)症例見学(40%)：矯正配属日に見学・介助を4回以上（1回以上は介助）を行い、レポート作成および口頭試問を行い評価を行う。レポート提出は2週間以内とし、口頭試問を配属担当医により行う。なお、混合歯列症例を2回以上見学することとする。 3)精密検査の見学・介助(10%)：精密検査の見学・介助を1回行い評価を行う。
⑦ 備 考 (その他留意事項等) 矯正治療の見学・介補の際には、患者様に不快な思いをさせないように十分に配慮し、言動に気を配ること。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：小児歯科
担当教員名：清水邦彦、清水武彦、荒井清司、小川 京、伊藤奈々、折野大輔、 平井則光、青木 望 砂田怜子 山本晴子 伊藤龍朗、遠藤智佳
実施場所：小児歯科診療室
① ユニット課題：小児期の歯科診療を理解する。
② 終了時の目標(アウトカム目標) 乳歯列期および混合歯列期の口腔疾患の診断および治療計画の立案ができる。
③ 到達目標 (GIO) 小児の歯科治療および口腔疾患の予防を行うために基礎的な知識、技能、態度を身につける。
④ 行動目標 (SBOs) 小児の齲蝕治療を理解する。 小児の抜歯および外傷について理解する。 小児の保隙について理解する。 小児の対応について理解する。 小児の予防処置を理解し、行う。 小児の定期健診を理解する。 小児の症例検討を行う。
⑤ 学習方法 (LS) 診療の見学および介補を行う。また担当した症例のディスカッションを行う。
⑥ 評価方法 (EV) 別紙の見学・評価表に記載した事項に従い評価する (85%) 必要に応じて口頭試問およびレポートを課す (15%)
⑦ 備 考 (その他留意事項等) 小児患児は、ほとんどの場合、保護者と同伴して来院する。保護者は自分の子供がどのような院内生に診られるのか多少の不安を抱いている。どの世代の保護者にも安心して子供を任せられるような院内生でなくてはならない。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：麻酔・全身管理科
担当教員名：渋谷 鑛、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏、 峯村麻由、岡部靖子、石川義継、片岡尚一
実施場所 各科外来、全身管理室および手術室
① ユニット課題 全身管理法、精神鎮静法および全身麻酔法
② 終了時の目標(アウトカム目標) 安全な歯科治療に対する知識と技術の習得。
③ 到達目標 (GIO) 安全な歯科治療を施行するために、治療上問題となる医科的疾患を学び、全身管理法、 精神鎮静法および全身麻酔法の基本的な知識と技術を習得する。
④ 行動目標 (SBOs) 1. 周術期管理に必要なモニターを選択し、患者に装着することができる。また、そこで得ることができた情報を判断することができる。 2. 全身疾患を有する患者の歯科治療時の注意点について述べることができる。 3. 精神鎮静法の適応とその実施法について述べることができる。 4. 全身麻酔の基本的手技について説明することができる。 5. 酸素、笑気ボンベの取り扱いができる。 6. 周術期管理(全身麻酔含む)に用いられる薬剤について説明できる。 7. 歯科治療中の偶発症発生時の対処法について説明することができる。
⑤ 学習方法 (LS) ・全身管理、精神鎮静法および全身麻酔症例の術前診察と術中見学。 ・笑気吸入鎮静法の相互実習および筆記試験。
⑥ 評価方法 (EV) 見学態度(10%)、レポート内容(20%)、口頭試問(30%)およびまとめ試験(40%)により総合的に評価する。追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、成績に加点とする場合もあり得る。
⑦ 備 考 (その他留意事項等) ・実習は補綴科配属期間中に行う。毎週火曜日、木曜日に事前にアポイントを取った5名に対し、術前診察および術中見学を行う。 ・事前アポイントは、クール開始1週間前の木曜日に17時以降401教室にて行う。 ・実習日までに見学予定者全員がそろって、医局前に集合し、担当の者から集合時間、症例内容および注意事項について説明、伝達を受けること。 ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名	： 特殊歯科
担当教員名	： 野本たかと、伊藤政之、梅澤幸司、三田村佐智代、田中陽子、三枝優子、水野貴誠、伊藤梓、猪俣英理、矢口学、地主知世、西山めい、秋山真帆、村上絵梨
実施場所	： 特殊歯科診療室
① ユニット課題	見学により障害者歯科診療で重要となる障害についての理解を深めるとともに診療介補を体験する。また、理解の確認とさらなる知識の習得のため口頭試問、課題レポートおよび症例検討を行う。
② 終了時の目標(アウトカム目標)	臨床実習を経験し障害者歯科診療で重要となる障害について理解し、スペシャルニーズのある人に対する歯科臨床での配慮、工夫等を説明できるようになる。
③ 到達目標 (GIO)	歯科医療の対象としてのスペシャルニーズがある人の存在を知り、その臨床の実際を体験することを通じてスペシャルニーズがある人を患者として受け入れることができる歯科医師としての知識・態度を修得する。
④ 行動目標 (SBOs)	1) 診療の流れを理解して説明することができる。 2) スペシャルニーズがある人の身体的、精神的および行動の障害を説明できる。 3) 障害者歯科治療における行動調整法を観察し、説明できる。 4) 口腔内診査の介補を実践できる。 5) 各歯科治療の介補を実践できる。 6) スペシャルニーズがある人のホームケア指導について説明できる。
⑤ 学習方法 (LS)	1. 実習方法 (配属第1回目) 診療見学、口腔内診査の介補、口頭試問、レポート 2. 実習内容 1) 症例と症例数 (minimum requirement) (1) 〈必修症例〉 ・口腔内診査の介補症例 : 症例数 1 ・実習内容 口腔内診査の介補 (2) 〈見学症例〉 ・治療症例 : 症例数 8 ・実習内容 見学 2) 口頭試問 口頭試問は原則として、口腔内診査の介補症例、治療症例に関連した事項、課題レポートより各指導医が出題する。 3) レポート レポート課題は口頭試問時に各指導医が決定し出題する。また、レポートは原則、口頭試問終了1週間後の正午までに特殊歯科内の提出棚に提出する。

1. 実習方法（配属第2回目）

診療見学、各治療の介補、症例検討、レポート

2. 実習内容

1) 症例と症例数 (minimum requirement)

(1) 〈必修症例〉

・治療の介補症例 : 症例数 1

実習内容 各治療の介補

(2) 〈見学症例〉

・治療症例 : 症例数 8

・実習内容 見学

2) 症例検討

症例検討は原則として、各指導医が提示した患者データをもとにホームケア指導について検討する。

3) レポート

レポート課題は症例検討時に検討をした患者に対するホームケア指導について各指導医が出題する。また、レポートは原則として症例検討終了1週間後の正午までに特殊歯科内の提出棚に提出とする。

⑥ 評価方法 (EV)

実習態度、評価表記載の症例数・内容、症例検討、レポート、臨床能力到達試験

⑦ 備 考 (その他留意事項等)

1. 注意事項

1) 見学時の注意

- (1) 診療室内では私語を慎む。
- (2) 患者への不用意な言葉を控える。(患者の障害について、恐怖・不安をかき立てるような言動など)
- (3) 患者に誠意を持ち、温かい心で接する。
- (4) 障害による“困難さ”には、必要に応じて手を貸すことが大切であるが、基本的には見学中は指導医から指示されたこと以外には手を貸さない。
- (5) 患者の面前に大勢で立たない。
- (6) 患者、保護者、介護者のいるところで指導医への質問は控える。待合室や隣の治療室にも気を配る。
- (7) 見学症例数が到達数に達しても、実習時間中は見学をする。

2) 見学時の服装

- (1) 院内実習で定められた服装。原則として帽子、マスクは使用しない。マスクは必要な場合に着用する。
- (2) 胸、腹部ポケット内に必要以上の筆記用具等を入れない。

3) 臨床実習シラバス

配布された臨床実習シラバスは臨床実習を受けるにあたって、事前に理解すべき事項が記載してある。したがって、十分に理解しているものとして臨床実習を進める。必ず、実習前に熟読しておく。

- 4) 実習当日は各自、既に配布してあるA4版のノートを持参する。
- 5) 特別な理由なく学生からの実習日変更依頼は認めない。

2. 手続き

配属第1回目

- 1) 実習当日までに、障害や行動調整手段等について事前の自習を行っておく。
- 2) 実習当日は9:30までに診療室へ集合する。
- 3) 実習当日は口腔内診査の介補方法ならびに“Four Handed Dentistry”の実技指導を行うので、その“手技”、“概念”についても復習しておく。
- 4) 実技の評価表への検印は、実習終了後1週間以内にもらうこと。
1週間を過ぎた場合は再実習を課す。
- 5) 実習終了時にアポイント帳に押印してもらう。
- 6) 押印後の評価表は指示があるまで各自保管する。
- 7) レポート（ノート）は、担当医の指示に従い、速やかに提出する。

配属第2回目

- 1) 実習前に担当医の指示により、必修症例の診療録ならびに電子カルテの閲覧を行う初回のコンタクトを設ける。この際、アポイント帳の実習予定日に押印を受ける。
- 2) 初回のコンタクトは、実習開始3日前（土、日、祝祭日は含まない）の17:00である。実習当日までに、症例患者に係わる障害、行動調整手段等について事前に自習する。
- 3) 実習当日は9:30までに診療室へ集合する。なお、試験等で集合時間に遅れる場合は事前に特殊歯科に申し出る。
- 4) 評価表への検印は、口頭試問終了後1週間以内にもらう。1週間を過ぎた場合は再実習を科す。
- 5) 実習終了時にアポイント帳に押印してもらう。
- 6) 押印後の評価表は指示があるまで各自保管する。
- 7) レポート（ノート）は、担当医の指示に従い、速やかに特殊歯科診療室内レポート提出棚に提出する。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名:再生歯科

担当教員名:和田守康、長濱文雄、内山敏一、牧村英樹、西谷知子、菊地信之、金山優、福島由梨、福田良子

実施場所:第3総合診療室 ユニットNo19～27

① ユニット課題

1. 指定された配属日に診療見学、介補行う。
2. 実習時間は10時から12時および13時30分から16時。
3. 配属終了後、1週間以内にレポート提出、口頭試問を受ける。

② 終了時の目標(アウトカム目標)

歯の移植、再植、外科的歯内療法に適応について理解することができる。

③ 到達目標(GIO)

一般診療および再生歯科治療を実践できるようになるために必要な知識・技能および態度を習得する。

④行動目標(SBOs)

1. 一般的な診療の概念を理解する。
2. 外科的歯内療法の概念を習得する。
3. 歯の移植・再植の概念を習得する。

⑤学習方法(LS)

1. 診療室での介補・Opeの見学
2. レポートおよび口答試問

⑥評価方法(EV)

1. 臨床実習態度
2. 口頭試問
3. レポート

⑦備 考(その他留意事項等)

患者と実際に接することから、清潔な身なりで、また、適度な緊張感をもって実習すること。

印鑑は必ずもらうこと

実習時間内は原則トイレ等は禁止する。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：顎関節・咬合科
担当教員名：成田紀之、内田 貴之、小見山 道、大久保 昌和、神谷 和伸、 下坂 典立、飯田 崇
実施場所 病院3階診療室3、5、顎関節・咬合科
① ユニット課題 ・顎関節・咬合科で症例の見学をする。 ・見学症例の診査・診断プロセスと治療の内容に関するレポートを提出する。 ・提出レポートについての口頭試問を受ける。
② 終了時の目標（アウトカム目標） 顎関節症ならびに口腔顔面痛の診査および診断ができる。
③ 到達目標（GIO） 顎関節・咬合科において、顎関節症ならびに口腔顔面痛における診査・診断、ならびに治療を実践するにあたって必要とされる基本的な知識と技能および態度を習得する。
④ 行動目標（SBOs） 1. 侵害受容性疼痛（顎関節症）について説明ができる。 1) 顎関節症の診査を説明できる。 2) 顎関節症の診断を説明できる。 3) 顎関節症の治療方針を説明できる。 4) 顎関節症患者へのホームケアの指導を説明できる。 2. 神経障害性疼痛（三叉神経痛、外傷性三叉神経痛障害、帯状疱疹後神経痛など）について説明ができる。 1) 神経障害性疼痛の病態を説明できる。 2) 神経障害性疼痛の治療法を説明できる。 3. 心因性疼痛（痛みに見合う器質的異常がなく、かつ、心理・精神的要因が痛みと関連する状態にある身体表現性障害（疼痛性障害、身体化障害、心気症）、うつ病、不安障害など）について説明ができる。 1) 心因性疼痛の病態を説明できる。 2) 心因性疼痛の治療法を説明できる。 4. 関連痛について説明ができる。 1) 歯髄炎、筋・筋膜痛、などの関連痛を引き起こす疾患を説明できる。 2) 筋・筋膜痛への理学的対応を説明できる。 5. 顎関節症ならびに口腔顔面痛における画像検査所見の説明ができる。
⑤ 学習方法（LS） ・顎関節・咬合科での症例見学（3症例）を行う。 ・担当医へ見学症例のレポートを提出する。 ・担当医からレポートの内容の口頭試問を受ける。
⑥ 評価方法（EV） 1 症例見学 2 見学症例に関するレポートの評価 3 レポートに対する口頭試問

⑦ 備 考（その他留意事項等）

- ・わからないことは何でも聞くようにして下さい。
- ・担当医から診断の基準をよく習ってください。

参考図書

TMDを知る

ベルの口腔顔面痛

口腔顔面痛 基礎から臨床へ

Okeson TMD

口腔顔面痛の最新のガイドライン改訂第4版

クインテッセンス出版1997

クインテッセンス出版1998

クインテッセンス出版2001

医歯薬出版 2006

クインテッセンス出版2009

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：口腔インプラント科
担当教員名：加藤 仁夫、村上 洋、井下田 繁子、玉木 大之、北川 剛至、毛塚 和哉、安岡 沙織、竹野 智崇、船木 幹子、末石 哲之
実施場所：1. 総合診療室、小手術室、手術室 2. インプラント説明会 会場 3. 校舎棟教室（詳細は、別途指示） 4. 院内技工室・職員技工室・医員技工室
① ユニット課題 インプラント治療における診断からメインテナンス・リコールまで一連の流れについて理解し、医療チームの構成員として適切な行動をとる。
② 終了時の目標(アウトカム目標) インプラント治療における診断からメインテナンス・リコールまで一連の流れについて理解し、医療チームの構成員として適切な行動をとることができ、治療計画をたてることができる。
③ 到達目標 (GIO) 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識、技能、態度を習得する。
④ 行動目標 (SBOs) 1. インプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。 2. インプラントの基本構造を説明できる。 3. インプラントに必要な解剖学的形態について説明できる。 4. インプラントを用いた治療法と他の治療法の違いを説明できる。 5. インプラント治療の適応症と禁忌症について説明できる。 6. インプラント治療に必要な診察・検査を説明できる。 7. インプラント治療の治療計画の立案、インフォームド・コンセントについて説明できる。 8. インプラントの埋入手術を説明できる。 9. インプラント治療に必要な補綴治療について説明できる。 10. インプラントのメインテナンス・リコールについて説明できる。 11. インプラント治療における適応症と合併症について説明できる。 12. インプラント周囲炎の病態と対処法について説明できる。 13. インプラント模型を用いた埋入実習ができる。
⑤ 学習方法 (LS) 1. インプラント説明会にスタッフとして参加する。 2. インプラント患者の症例見学、介補を行い、担当医とディスカッション等を行う。 3. 指定した内容の事前学習を行い、テストに参加する。 4. 見学症例のレポートを提出する。 5. インプラント模型実習

⑥ 評価方法 (EV)

評価は、検印表、評価表、レポートおよび模型実習の参加で評価する。

- 1.インプラント説明会の参加やインプラント診療の見学
2. 模型実習（指定した事前学習およびテスト）（詳細は、後日班ごとに連絡）
3. 症例見学の検印数、評価表およびレポート提出の合計

⑦ 備 考（その他留意事項等）

- ・ 配属初日に必ず班担当Drとコンタクトをとること。
- ・ 見学や介補の際には、事前学習の上参加すること。
- ・ 症例により見学ができないこともあるので予約印の際に担当医に確認すること。
- ・ インプラント説明会：参加予約表に院内番号、氏名を記載し、担当医に確認すること。
準備から参加し、途中退出不可。（各回6名まで：会場により人数変更あり）
- ・ 模型実習は、指定日実施、必須。
（欠席は認めない。診断書がある場合には応相談。）
- ・ インプラント手術見学など予約が必要。
（診療室：2名、小手術室：2名、4F手術室：6名まで）
- ・ レポートは、シラバス記載担当者のみ。
- ・ 見学は、口腔インプラント科員のみ 検印有効。

見学日より10日以内に担当医の検印を受ける。

記載内容：表紙に①院内番号②氏名③見学日④担当医⑤課題名⑥提出日を記載、A4用紙で表紙を含め4枚以上で、手書き、参考文献、必須。

（不備は再レポート）評価の際に、レポートの確認を行うことがあるのでなくさないこと。

***積極的に、見学・介補にきてください。**

班ごとに担当Drがいますので確認し、コンタクトをとって下さい。

平成26年度 臨床実習(5月～3月)

診療科名：スポーツ健康歯科，いびき外来
担当教員名：川良美佐雄（教授），黒木俊一（准教授），鈴木浩司（専任講師），浅野隆（専任講師），吉村万由子（助手専任扱），渡邊愛斗（助手専任扱），本木久絵（助手専任扱）
実施場所：日本大学松戸歯学部付属病院 3 階総合診療室
① ユニット課題 ・スポーツマウスガード製作のための印象採得・装着・調整の見学 ・睡眠時無呼吸症候群患者の口腔内装置製作治療における印象採得・装着・調整の見学
② 終了時の目標(アウトカム目標) ・スポーツマウスガードの目的や製作方法を理解する ・睡眠時無呼吸症候群患者の病態を理解し、歯科的対応の意義を知る
③ 到達目標 (GIO) 患者の口腔外傷予防や健康増進に対する要望に応えるために，スポーツ歯科医学や睡眠健康科学に必要な知識，態度，技能を習得する。
④ 行動目標 (SBOs) ・スポーツにおける顎口腔系の動態について説明できる ・スポーツマウスガードの目的を説明できる ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の病態を説明できる ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応について説明できる
⑤ 学習方法 (LS) ・前処置，模型印象採得等の実技 ・チェアサイドでの診療見学および介補
⑥ 評価方法 (EV) 1. 臨床実習に臨む態度を評価 2. 介補、見学時の態度を評価 3. レポート、口頭試問により知識を評価 4. 評価は補綴科に含む
⑦ 備 考（その他留意事項等） 1. 臨床実習の期間内に 5 回の見学を行い、その中の 1 症例に対しレポートを作製、提出する。その後、口頭試問を行う。 2. 見学ができなかった場合は、課題に対するレポート提出および口頭試問を行う。 3. レポートは見学後、2 週間以内に担当医に提出する。 4. レポート提出後、速やかに口頭試問を受ける。 5. 見学のアポインメントは担当医員に当該症例のアポインメント状況を確認して取ること。

職員技工室の配属について

- | | |
|--------|---|
| 1. 時 間 | 午前 9 時 40 分から午後 4 時 30 分まで |
| 2. 場 所 | 職員技工室 |
| 3. 内 容 | 技工物の印象から完成までの見学研修
(1) 研究用模型の製作
(2) 印象及び技工物の受渡し
(3) 技工指示書の内容の確認（ミス及び完成日のチェック）
(4) シェードテイキング
(5) その他 |
| 4. 休 憩 | 午前 11 時 30 分から午後 12 時 30 分までと、午後 12 時 30 分から午後 1 時 30 分までの交替制 |

